

EPSON
EXCEED YOUR VISION

2004年度(2005年3月期)決算 中期経営計画(Action07)2年次 説明会

2005年4月26日

将来見通しに係わる記述についての注意事項

本説明資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。

そのため、実際の業績はさまざまな要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる要素としては、日本および海外の経済情勢、市場におけるエプソンの新商品・新サービスの開発・提供とそれらに対する需要の動向、価格競争を含む他社との競争、テクノロジーの変化、為替の変動などが含まれます。

なお、業績等に影響を与えうる要素は、これらに限定されるものではありません。

本説明資料における表示方法

数値：表示単位未満を切り捨て

比率：千円単位で計算後、表示単位の一桁下位を四捨五入

2004年度決算説明

通期決算

第4四半期決算

決算ハイライト(通期)▶前期比

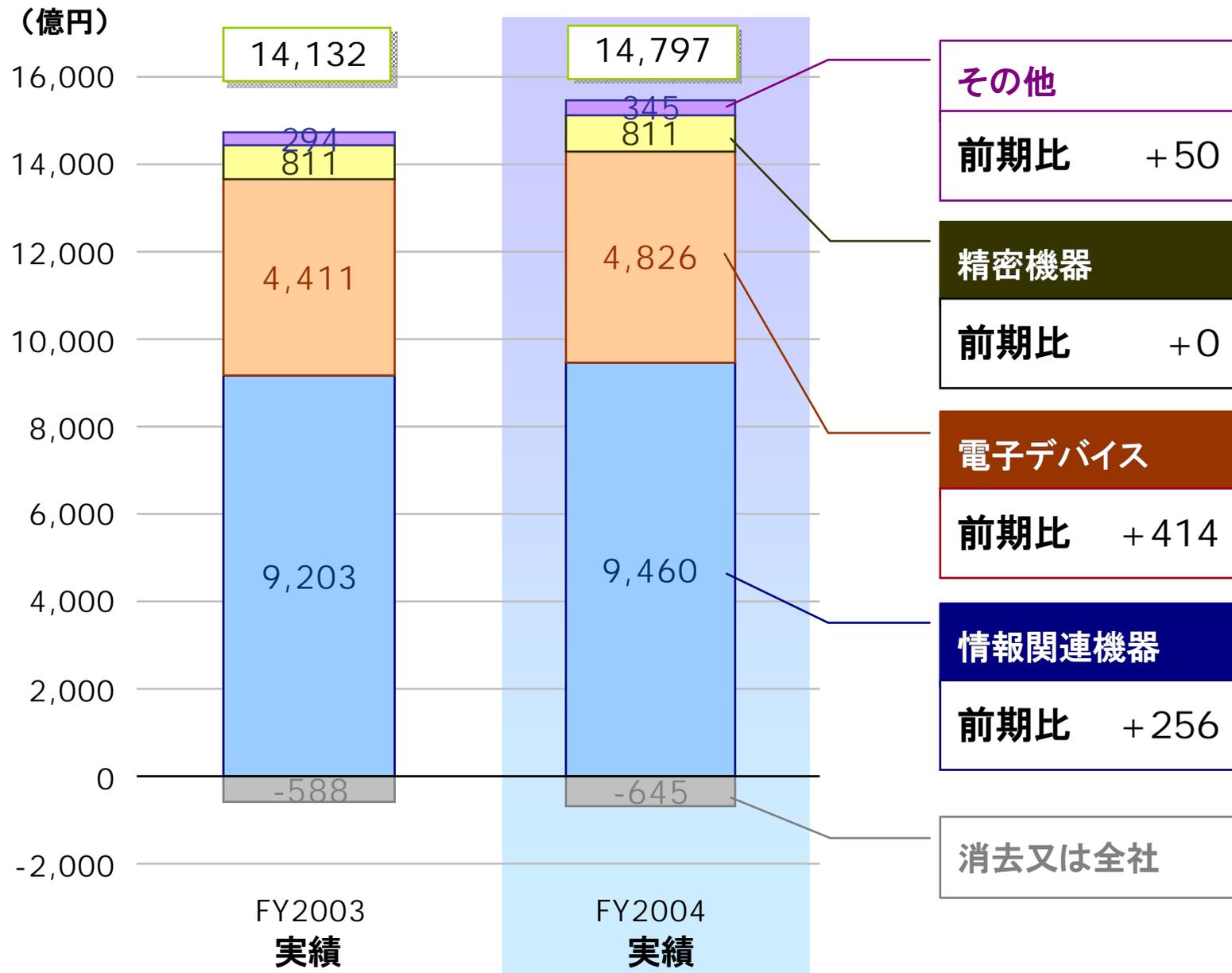
(億円)		2003年度		2004年度		増減	
		実績	売上高比	実績	売上高比	増減額	増減率
売上高		14,132	-	14,797	-	+665	+4.7%
営業利益		774	5.5%	909	6.1%	+135	+17.5%
経常利益		736	5.2%	853	5.8%	+116	+15.8%
税引前利益		650	4.6%	736	5.0%	+85	+13.2%
当期純利益		380	2.7%	556	3.8%	+176	+46.4%
EPS		204.70円	潜在株式調整後 204.53円	283.60円			
換算 レート	USD	113.07円		107.55円			
	EUR	132.61円		135.19円			

過去最高益更新

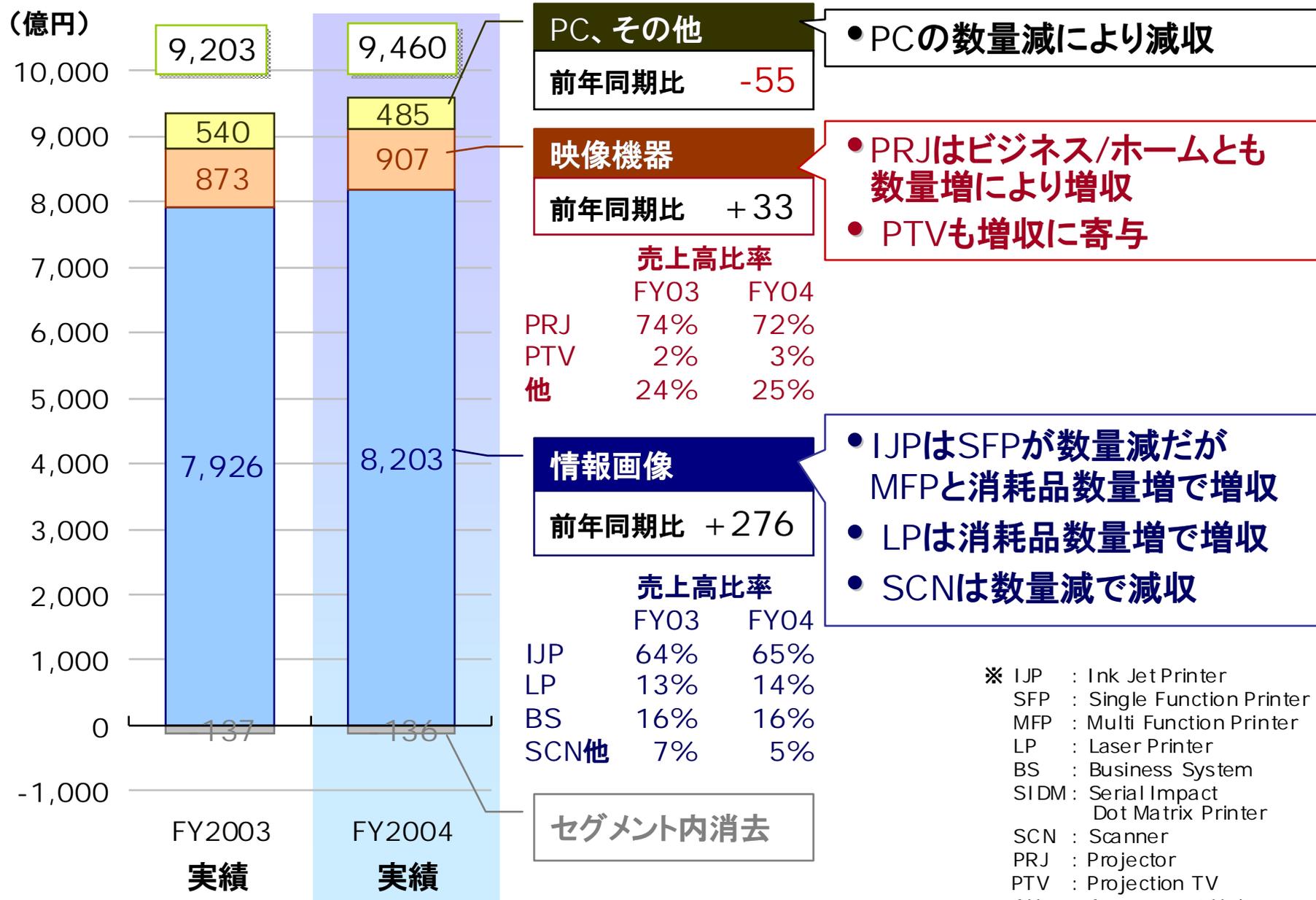
決算ハイライト(通期)▶前回(3/23)予想比

(億円)		2004年度		2004年度		増減	
		前回予想	売上高比	実績	売上高比	増減額	増減率
売上高		14,730	-	14,797	-	+67	+0.5%
営業利益		900	6.1%	909	6.1%	+9	+1.1%
経常利益		850	5.8%	853	5.8%	+3	+0.4%
税引前利益		780	5.3%	736	5.0%	-43	-5.6%
当期純利益		540	3.7%	556	3.8%	+16	+3.1%
EPS		275.00円		283.60円			
換算 レート	USD	107.52円		107.55円			
	EUR	134.70円		135.19円			

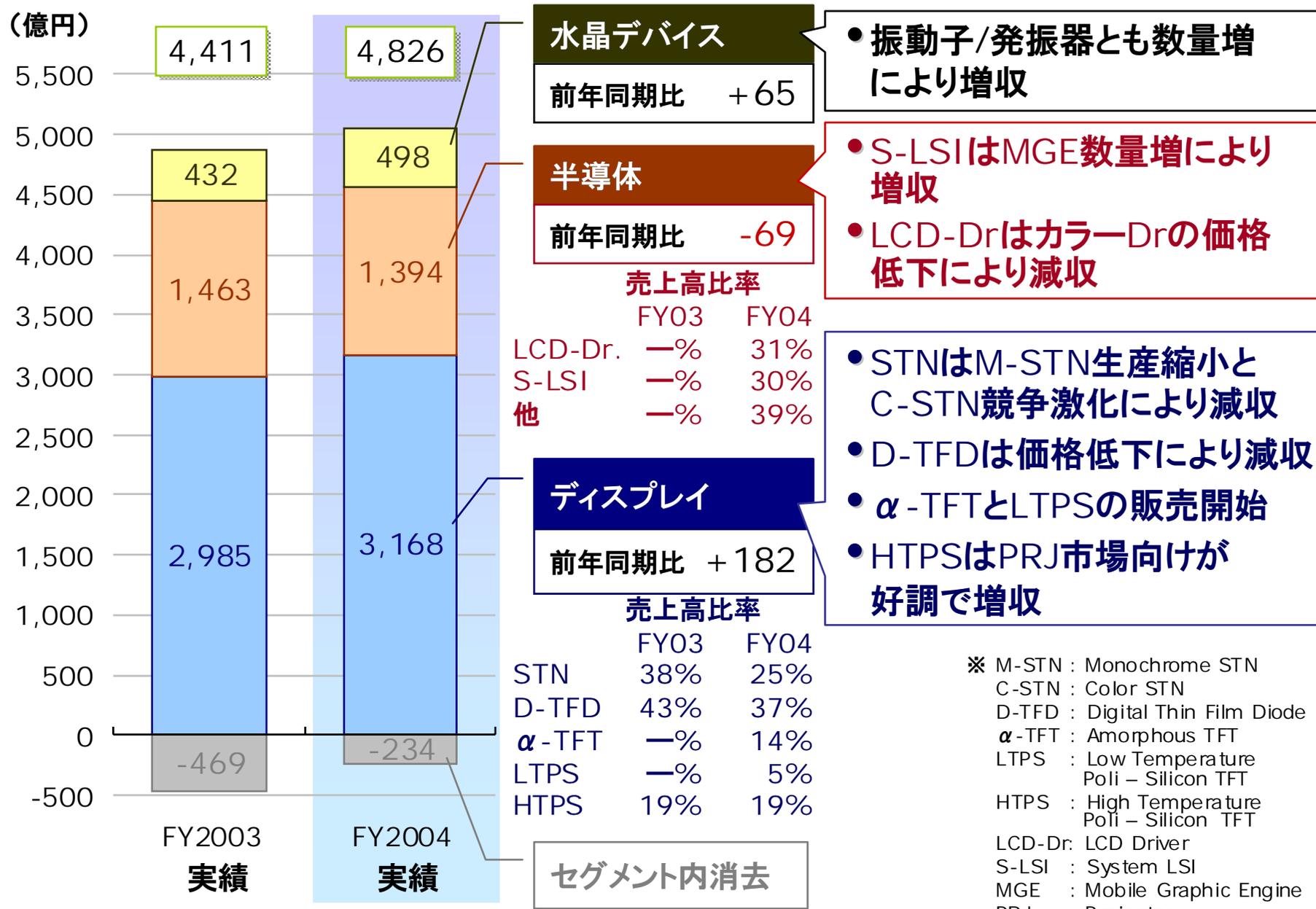
売上高(通期)▶事業セグメント別



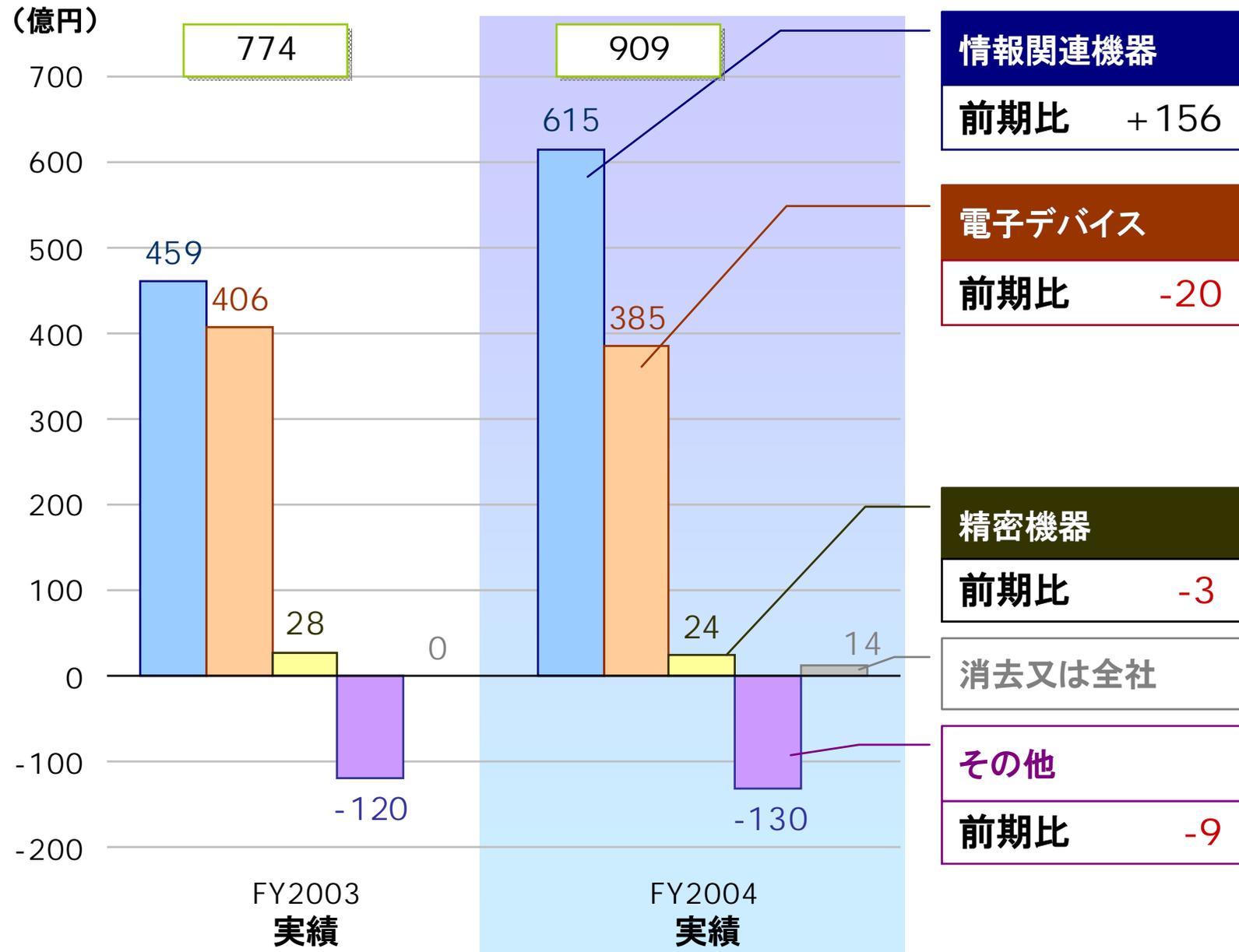
売上高比較(通期)▶情報関連機器



売上高比較(通期)▶電子デバイス



営業利益(通期) ▶ 事業セグメント別



貸借対照表主要項目推移

総資産

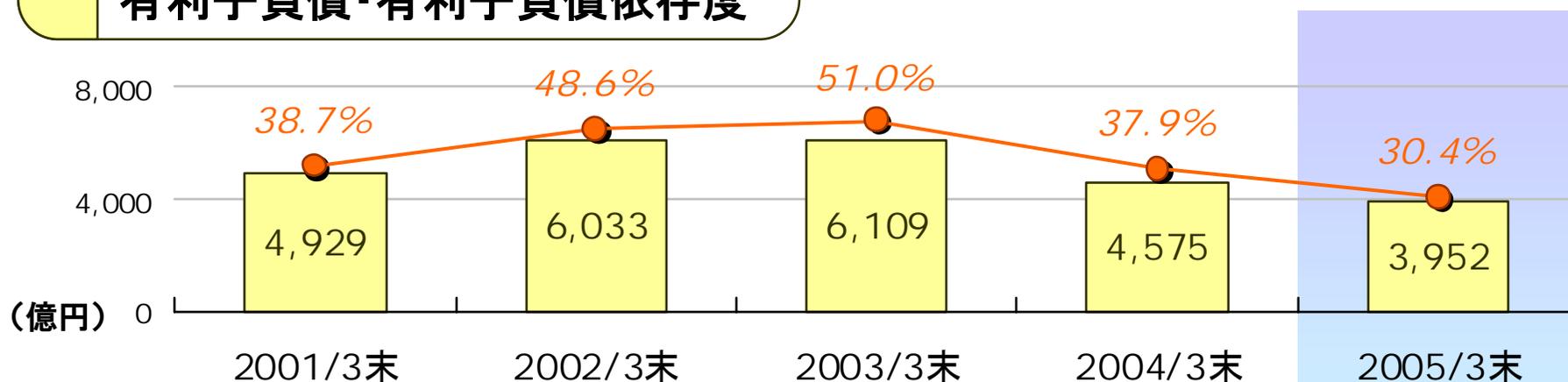


たな卸資産

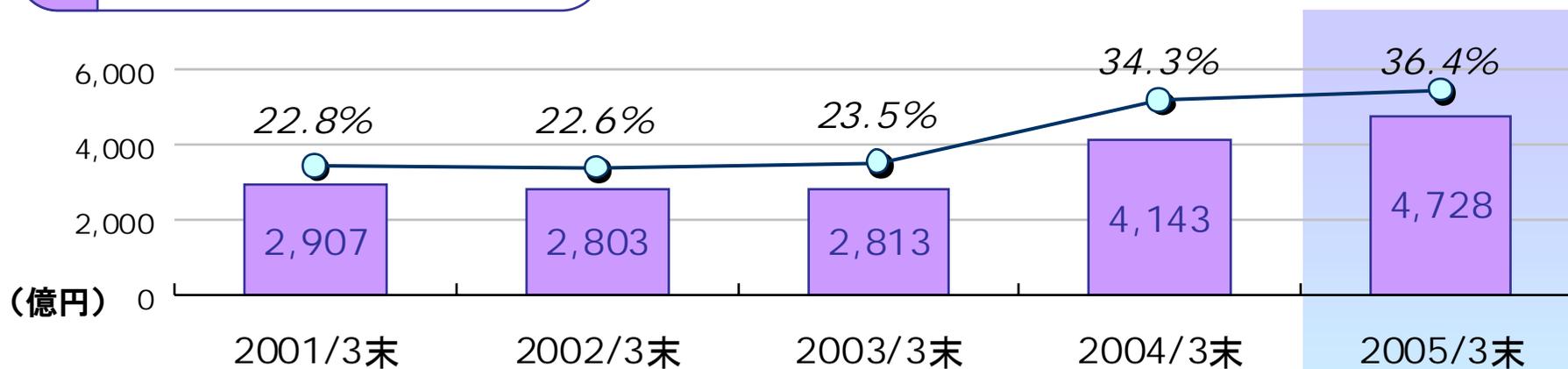


貸借対照表主要項目推移

有利子負債・有利子負債依存度



株主資本・株主資本比率



2004年度決算説明

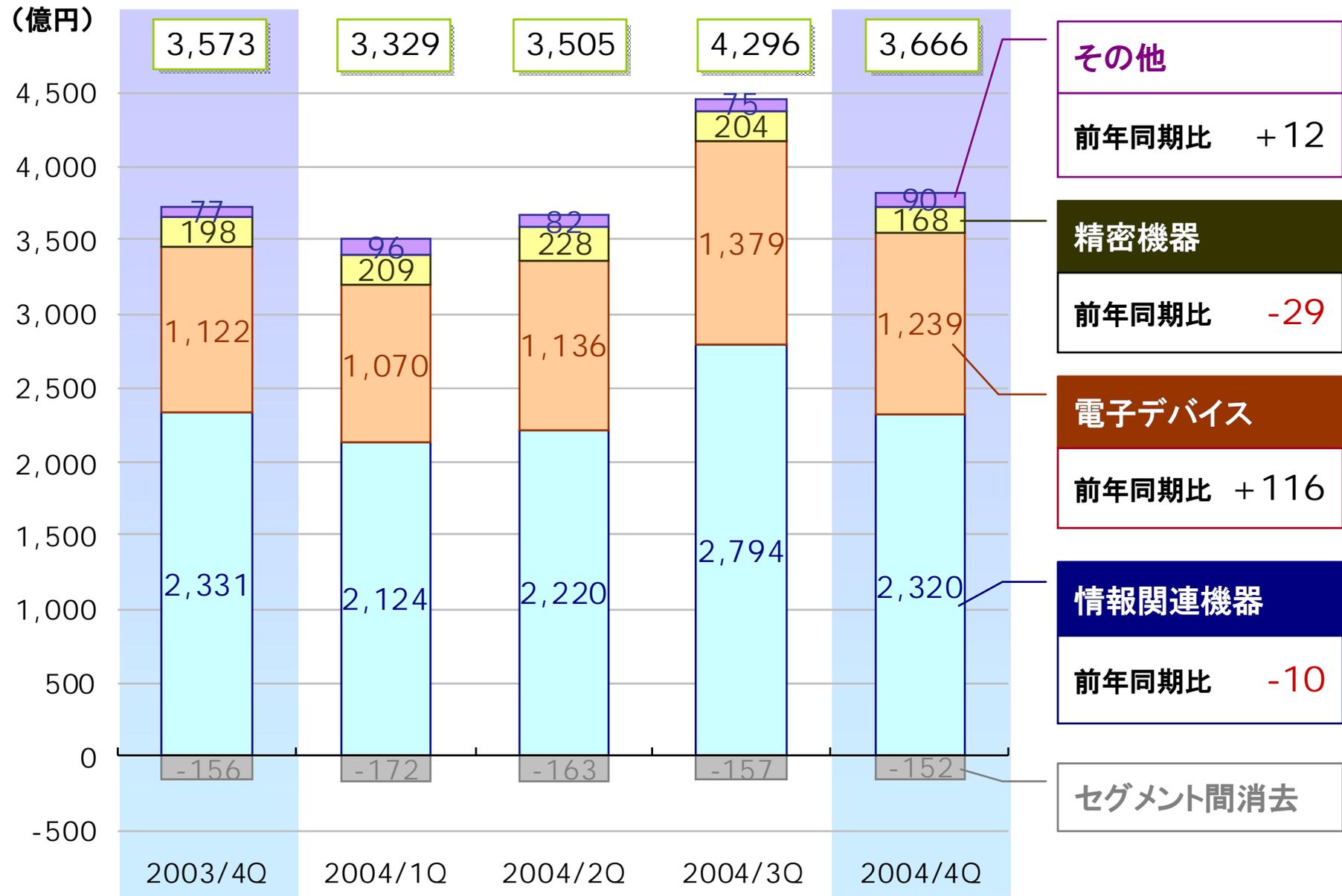
通期決算

第4四半期決算

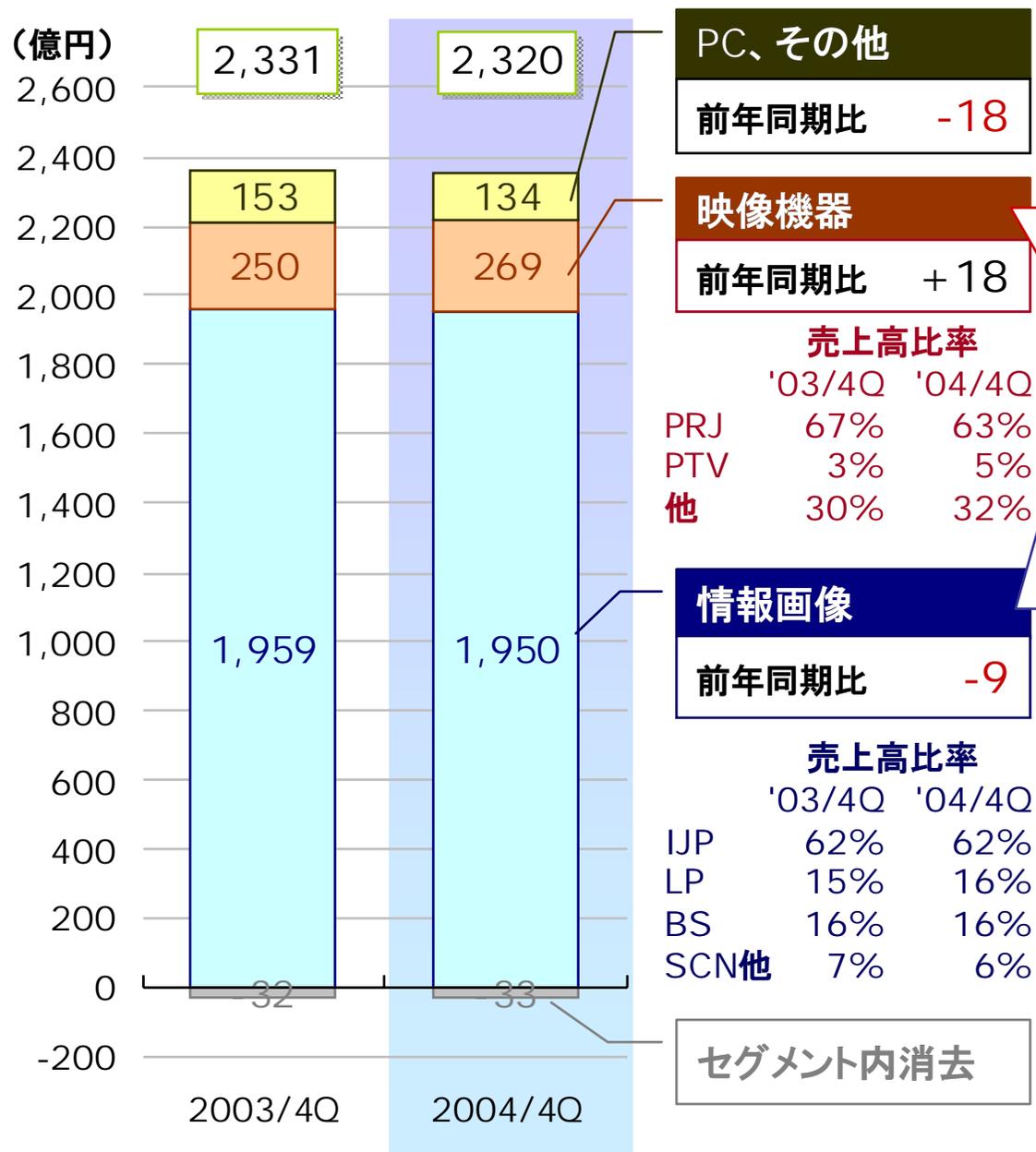
決算ハイライト(第4四半期)▶前年同期比

(億円)		2003年度		2004年度		増減	
		4Q実績	売上高比	4Q実績	売上高比	増減額	増減率
売上高		3,573	-	3,666	-	+92	+2.6%
営業利益		123	3.5%	-58	-1.6%	-182	-147.4%
経常利益		101	2.8%	-62	-1.7%	-164	-162.1%
税引前利益		71	2.0%	-121	-3.3%	-192	-269.8%
期間純利益		43	1.2%	-42	-1.2%	-85	-199.2%
換算 レート	USD	107.27円		104.51円			
	EUR	134.07円		136.94円			

四半期売上高推移▶事業セグメント別



四半期売上高比較▶情報関連機器

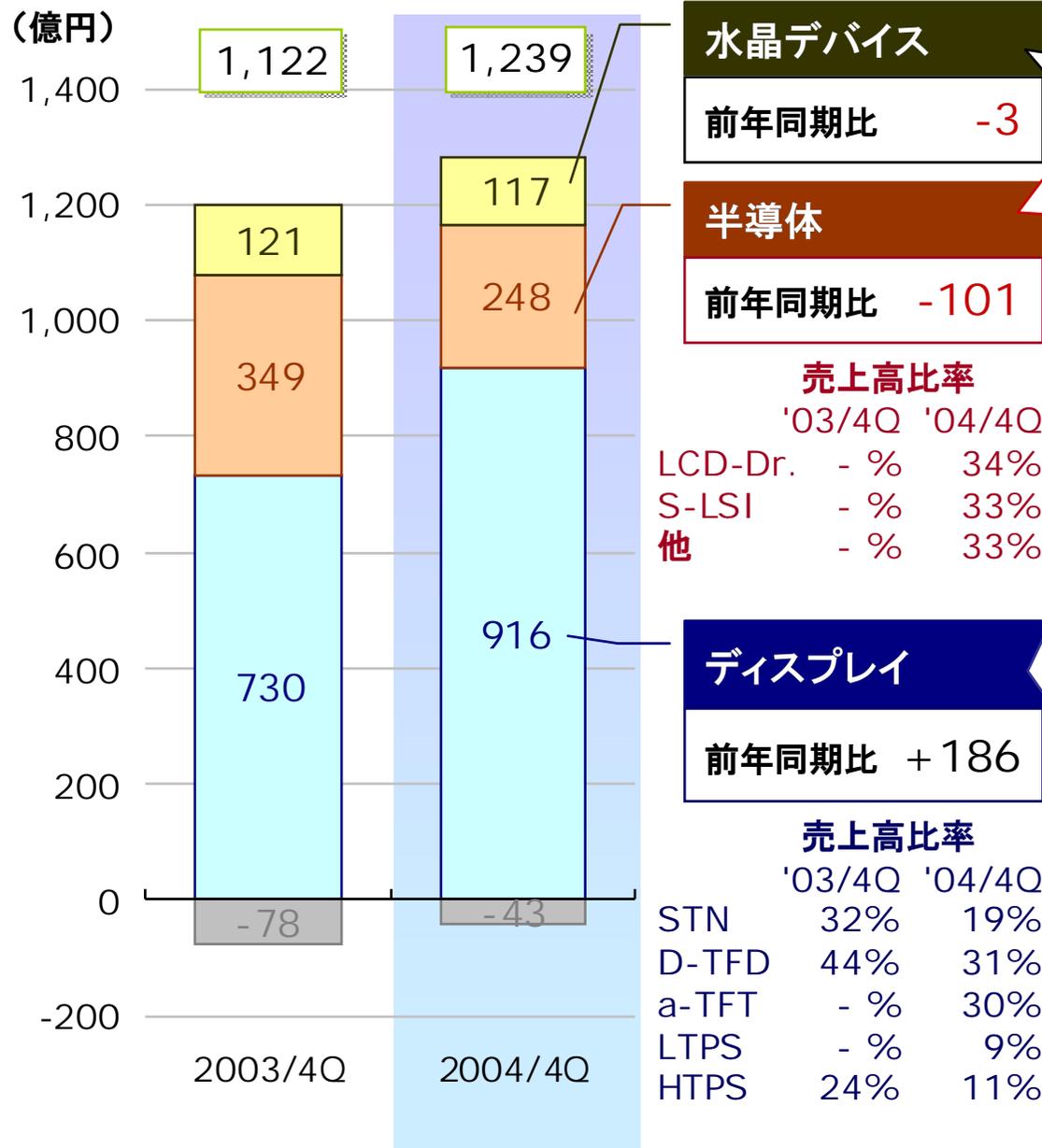


- フロントPRJはビジネス向けを中心に価格低下影響を受けたが数量増により増収
- PTVとAUは数量増により増収

- IJPはSFPの数量減の影響で減収となったが、MFPとインクカートリッジは数量増
- LPはトナーの数量増、BSは業務用小型プリンタの数量増によりいずれも増収
- SCNは数量減により減収

- ※ IJP : Ink Jet Printer
- SFP : Single Function Printer
- MFP : Multi Function Printer
- LP : Laser Printer
- BS : Business System
- SIDM : Serial Impact Dot Matrix Printer
- SCN : Scanner
- PRJ : Projector
- PTV : Projection TV
- AU : Amusement Unit

四半期売上高比較▶電子デバイス



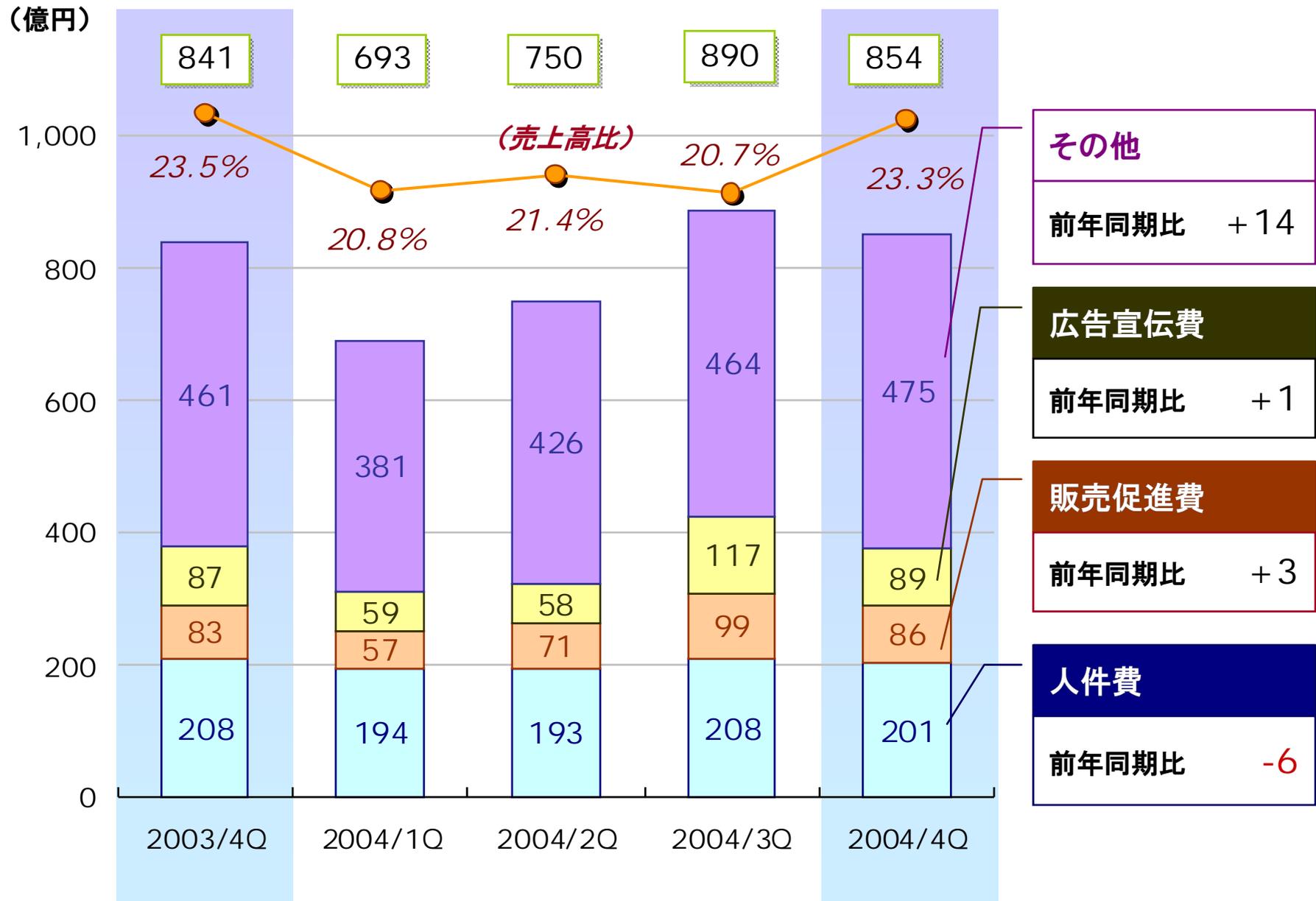
● 携帯電話向け数量は増加したが全般的に価格は低下

● LCD-Dr: 競争激化による数量減少・価格低下により減収
● S-LSI: MGEは数量減少と価格低下影響により減収

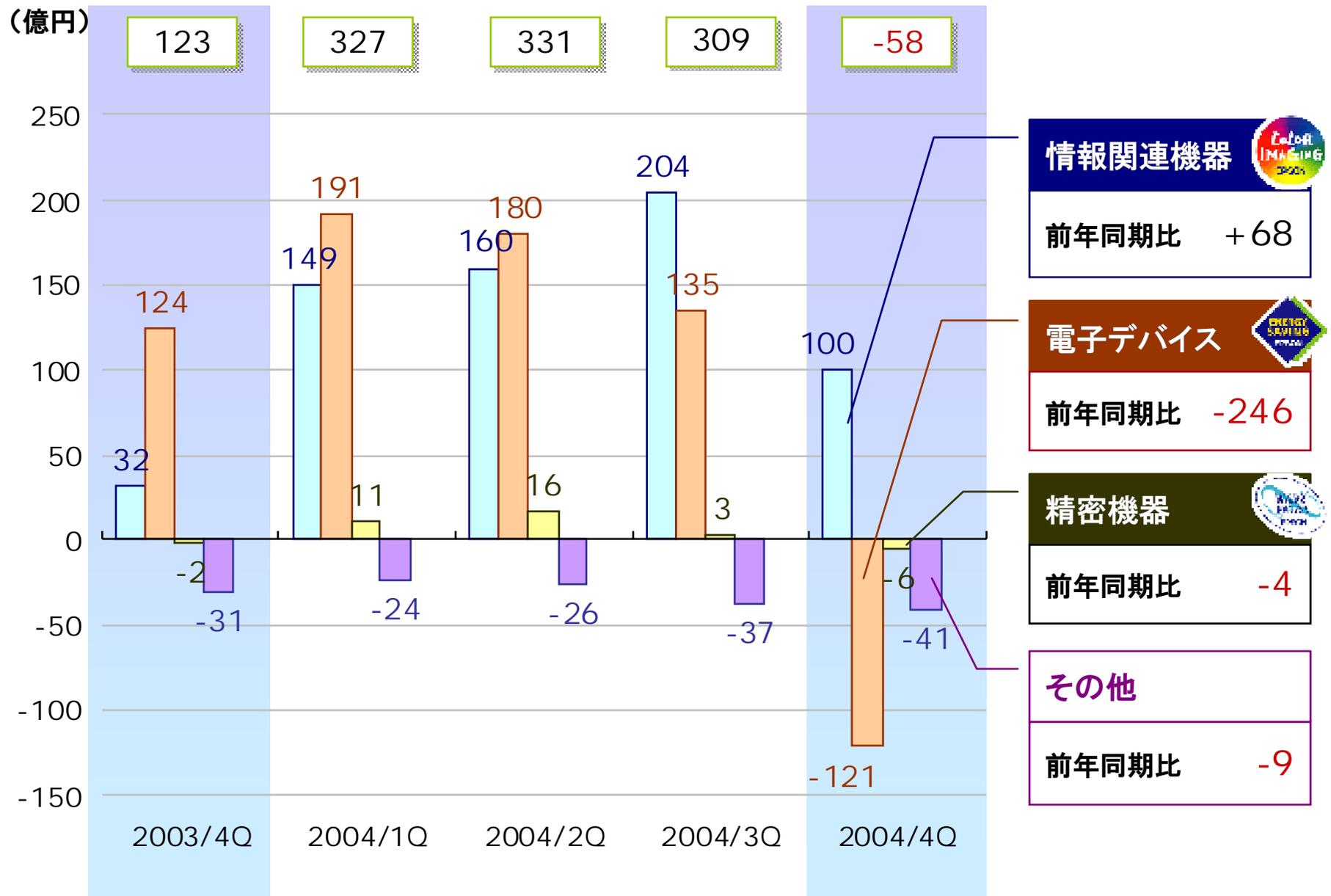
● α-TFT、LTPSオペレーション開始に伴う売上
● C-STN、D-TFD: 数量は増加したが競争激化による価格低下の影響で減収
● HTPS: PRJ在庫調整の影響で数量減少により減収

※ M-STN : Monochrome STN
C-STN : Color STN
D-TFD : Digital Thin Film Diode
a-TFT : Amorphous Silicon TFT
LTPS : Low Temperature Poli-Silicon TFT
HTPS : High Temperature Poli-Silicon TFT
LCD-Dr: LCD Driver
S-LSI : System LSI
MGE : Mobile Graphic Engine
PRJ : Projector
PTV : Projection TV

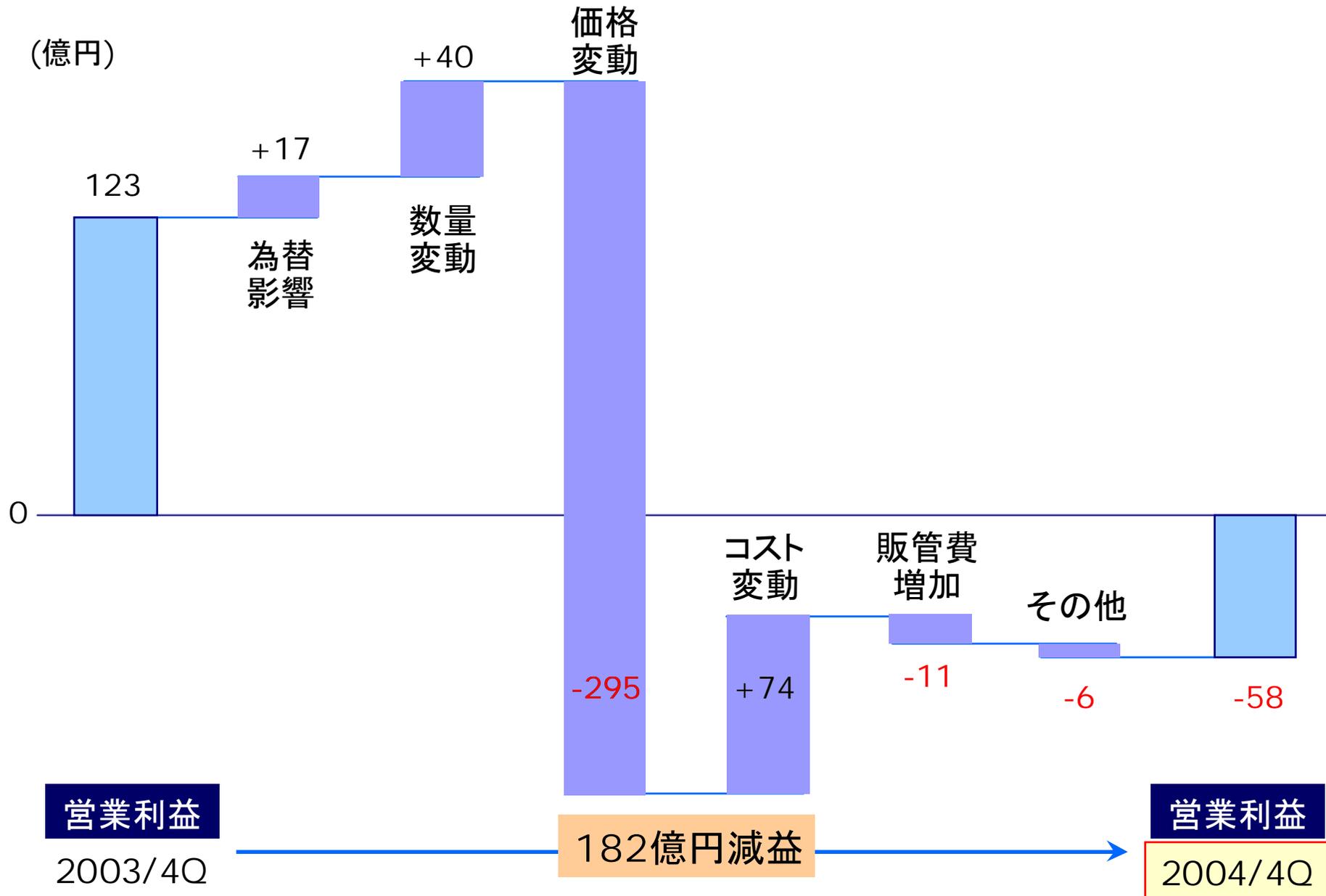
四半期販売費及び一般管理費推移



四半期営業利益推移▶事業セグメント別



営業利益増減要因分析



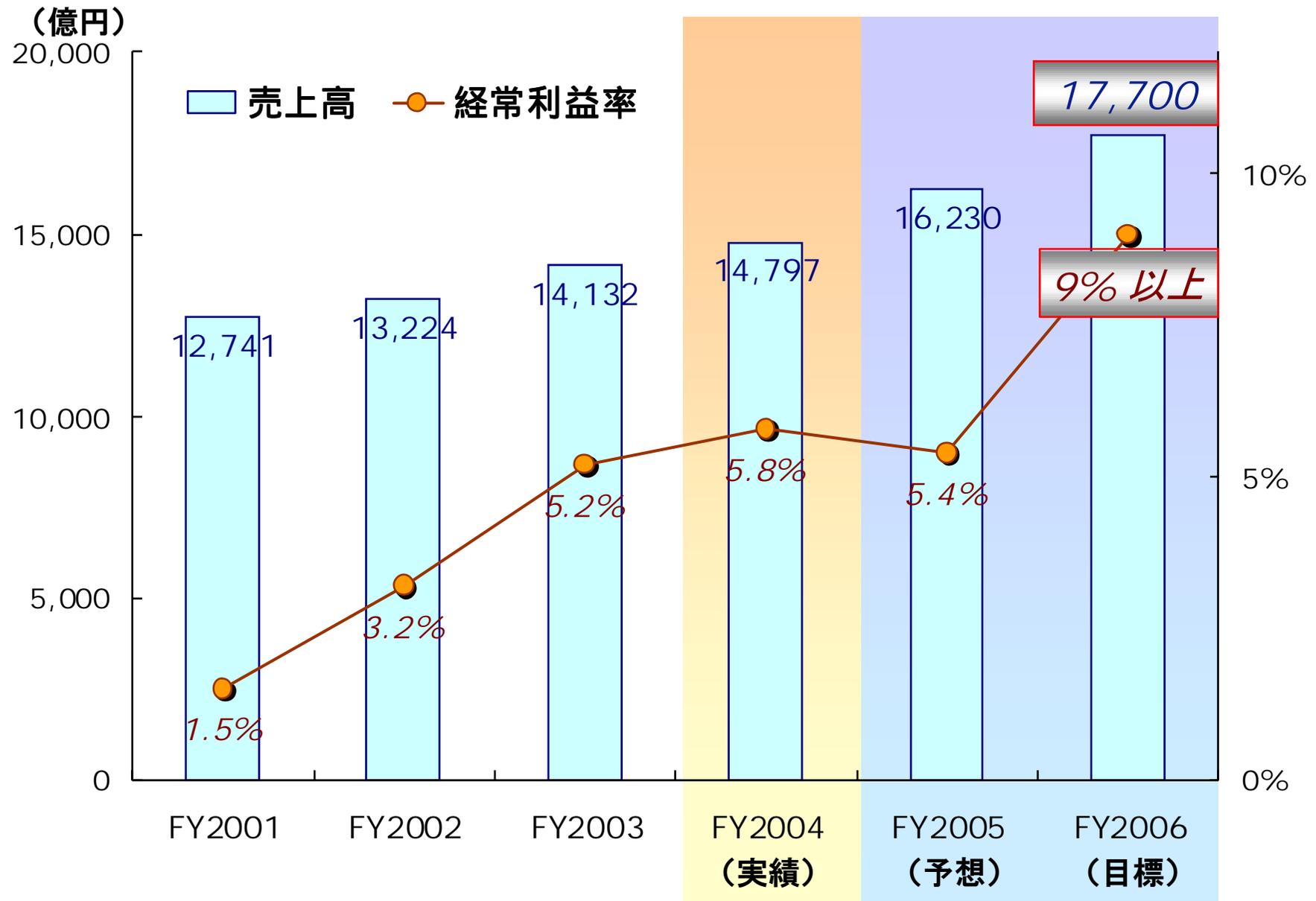
中期経営計画 (Action07) 2年次説明

1年次レビュー

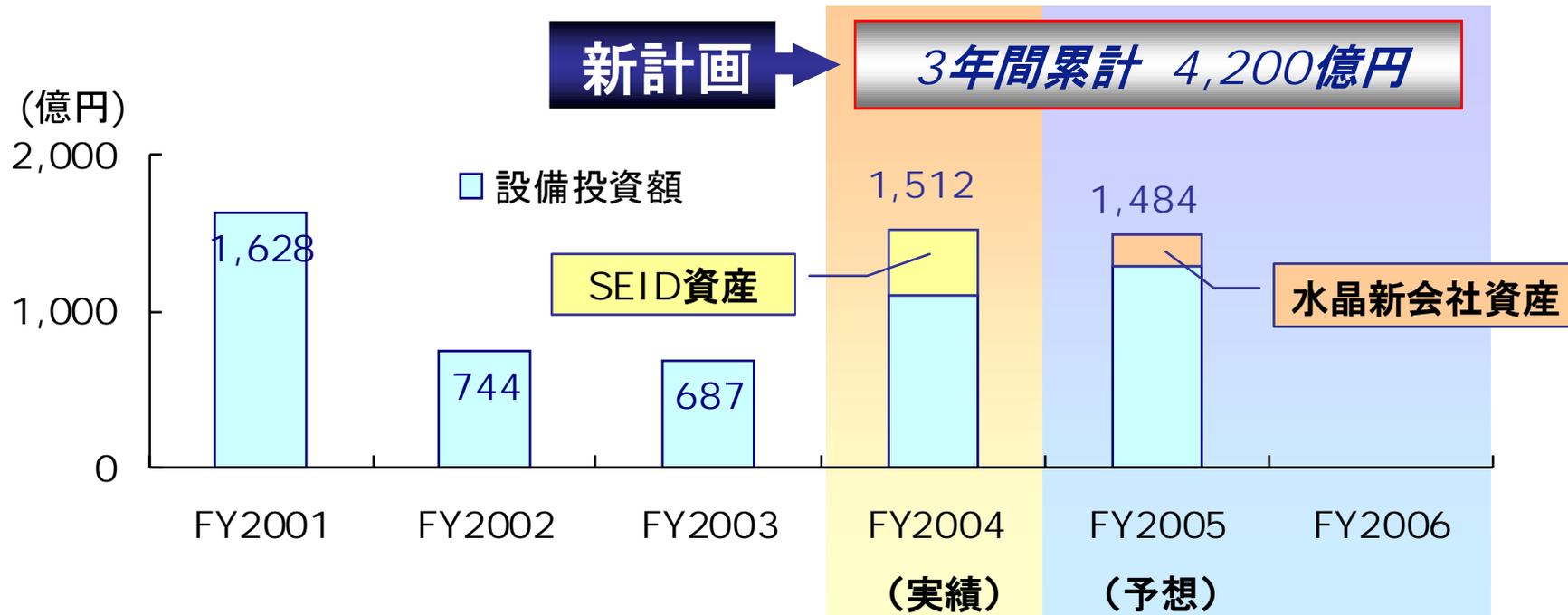
2年次(2005年度)業績予想

2年次の取り組み

Action07 1年次レビュー ▶ 売上高/ROS



Action07 1年次レビュー ▶ 設備投資

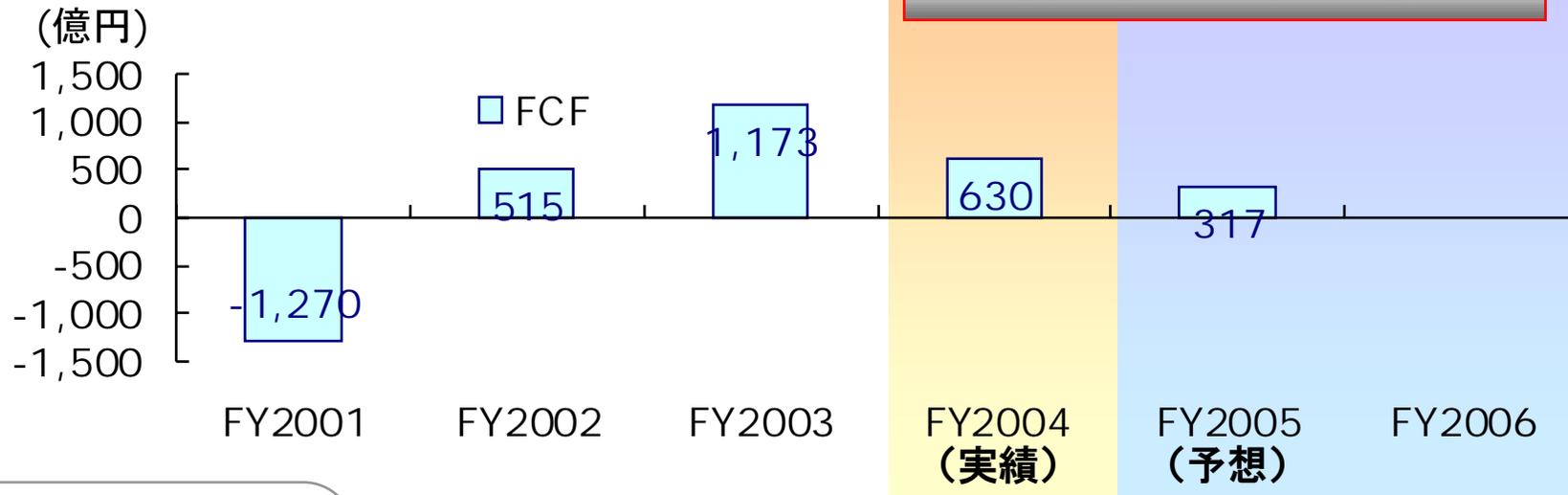


● 設備投資の主なトピックス(2005年度計画分)

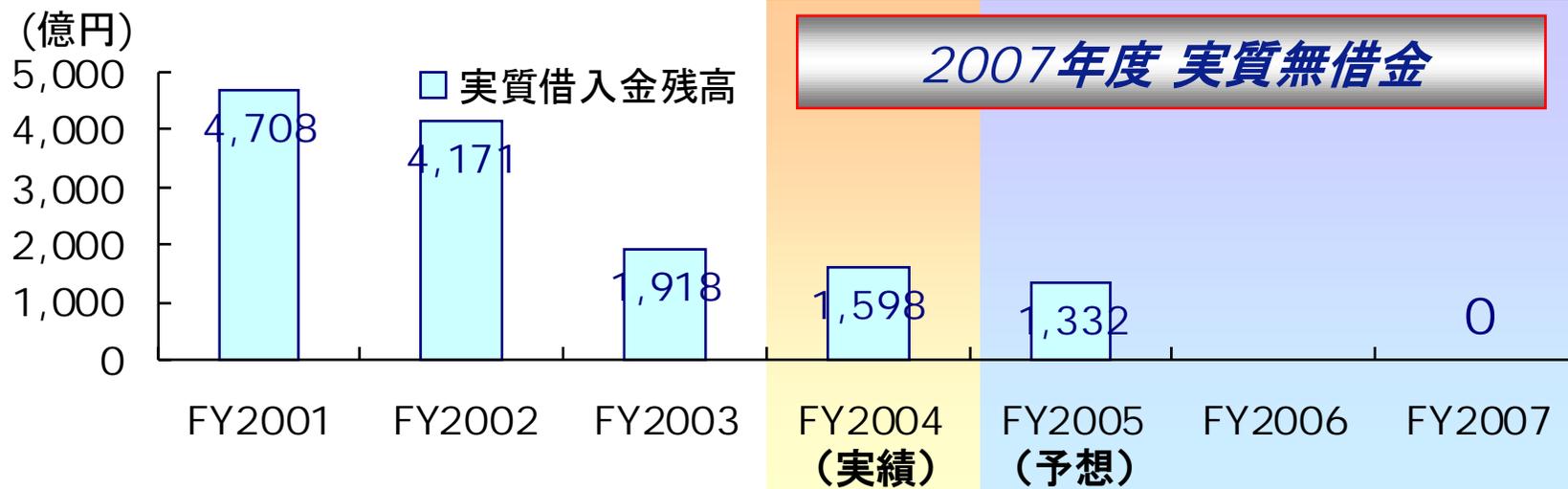
- ▶ エプソントヨコム設立に伴う資産取得 (川崎ほか)
- ▶ 情報関連機器研究開発拠点新築 (広丘)
- ▶ αTFT小型化/LTPS高精細化投資 (SEID)
- ▶ HTPS能力増強/実装ライン構築 (千歳)

Action07 1年次レビュー ▶FCF/実質借入金

● FCF

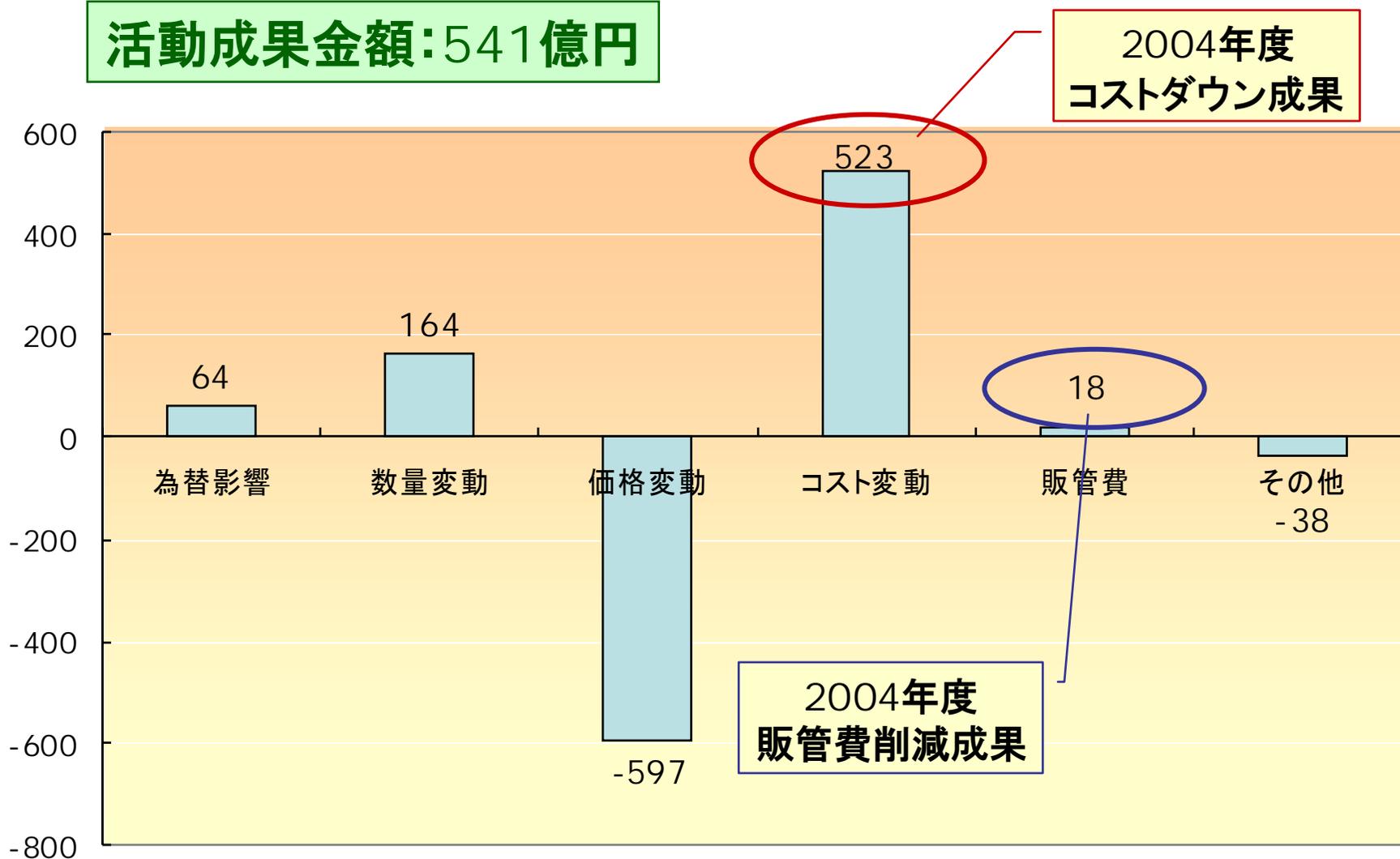


● 実質借入金



Action07 1年次レビュー ▶ 総原価率低減活動の成果

活動成果金額: 541億円



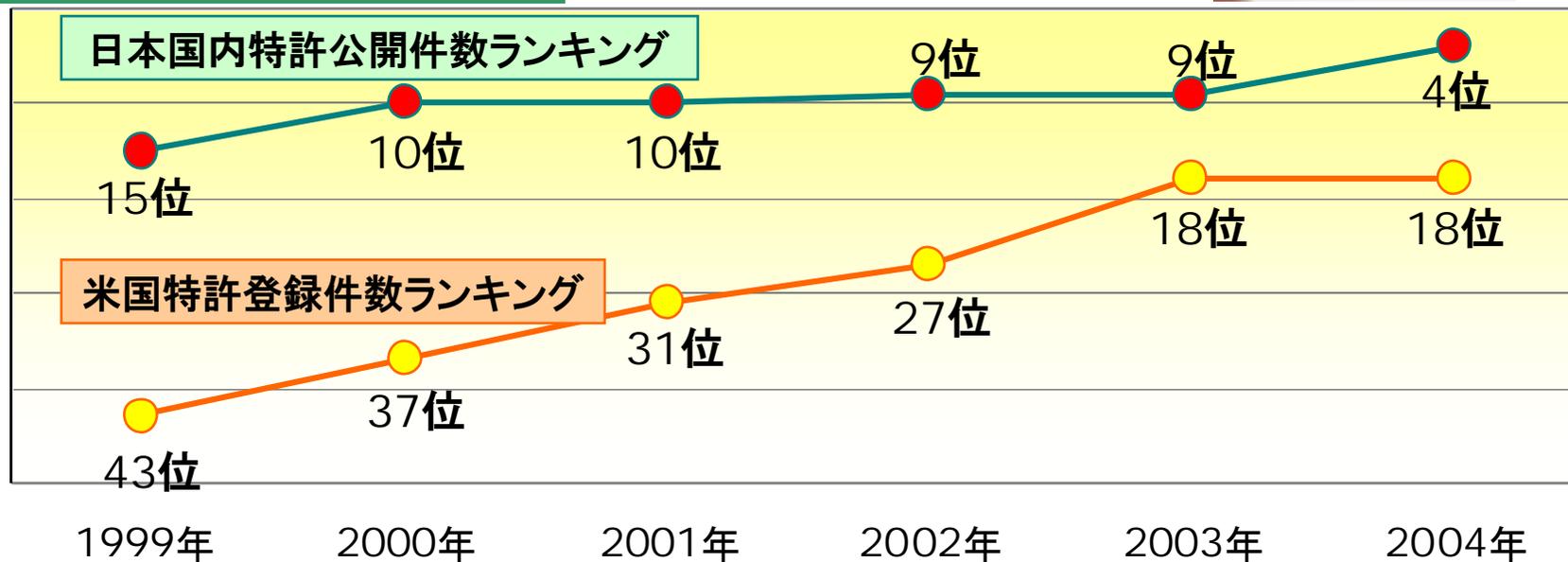
Action07 1年次レビュー ▶ 研究開発の成果

2004年度の成果

- ▶ 世界初、40インチフルカラー有機ELディスプレイ開発
- ▶ 世界最軽量の自律飛行型マイクロ・フライング・ロボット開発
- ▶ 世界初、インクジェットによる超薄型20層回路基板の試作成功



特許ランキング推移



中期経営計画 (Action07) 2年次説明

1年次レビューと新目標値

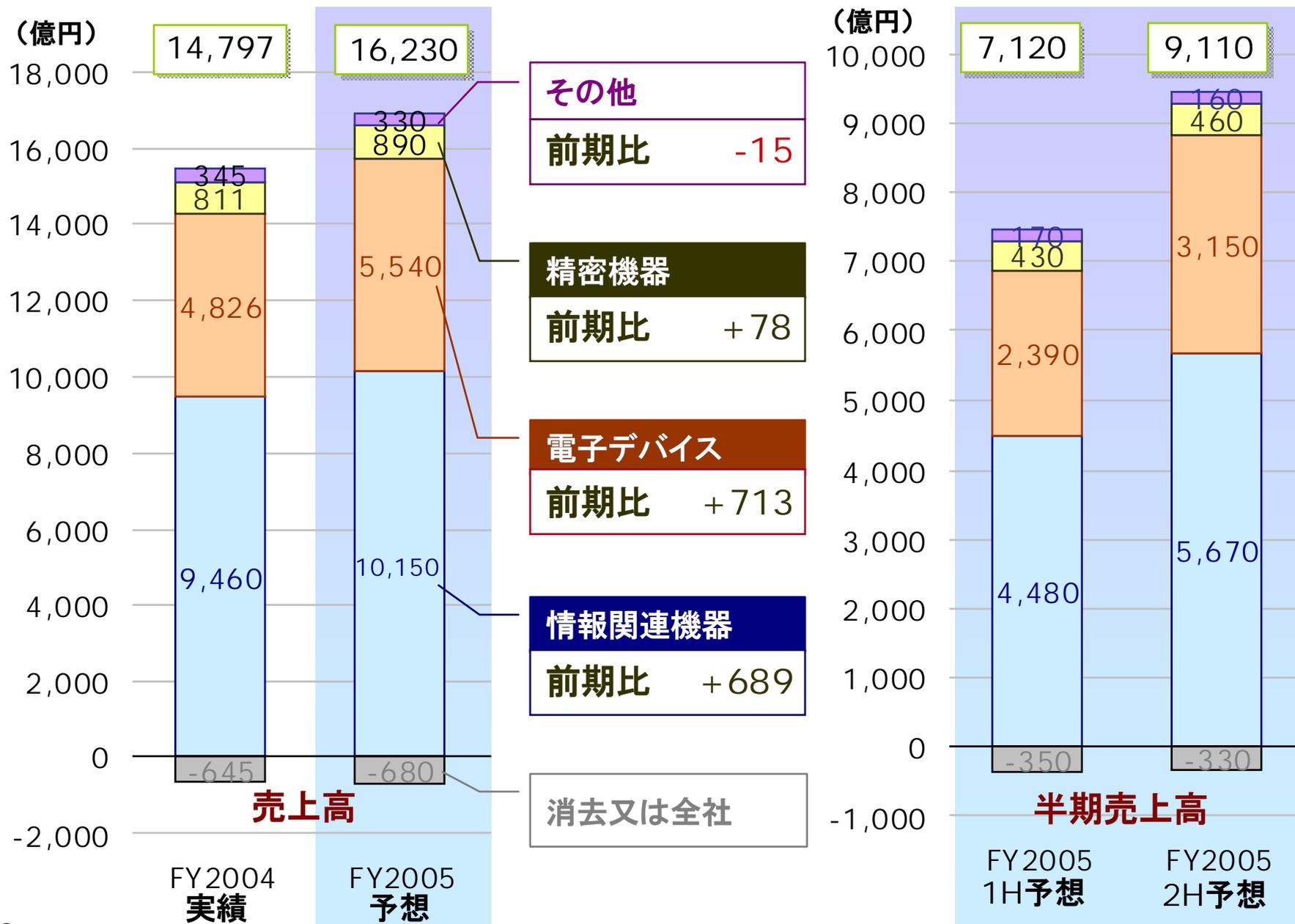
2年次(2005年度)業績予想

2年次の取り組み

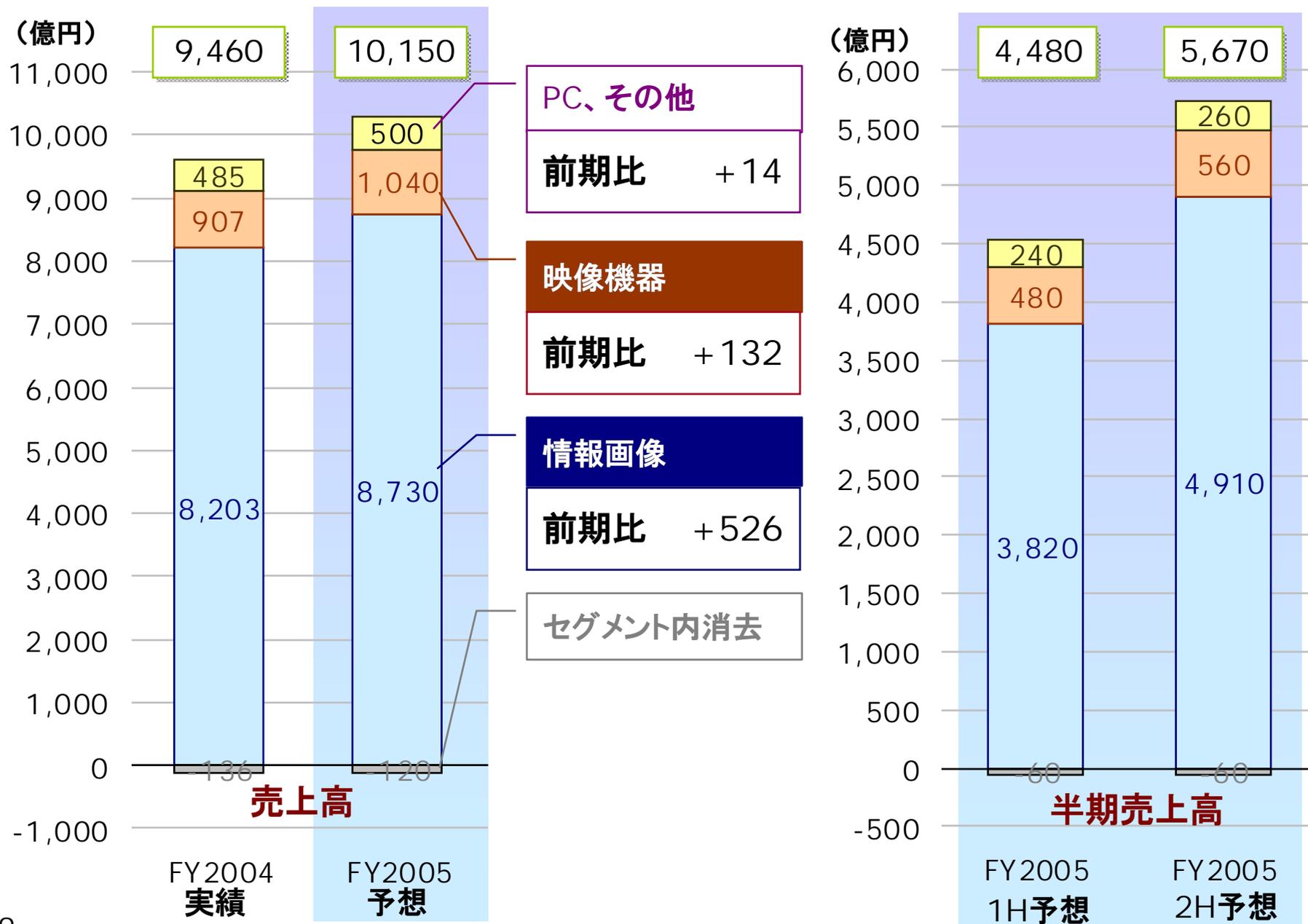
2005年度業績予想▶前期比

(億円)		2004年度		2005年度		増減	
		実績	売上高比	予想	売上高比	増減額	増減率
売上高		14,797	-	16,230	-	+1,432	+9.7%
営業利益		909	6.1%	920	5.7%	+10	+1.1%
経常利益		853	5.8%	880	5.4%	+26	+3.1%
税引前利益		736	5.0%	820	5.1%	+83	+11.3%
当期純利益		556	3.8%	540	3.3%	-16	-3.0%
EPS		283.60円		275.00円			
換算 レート	USD	107.55円		105円			
	EUR	135.19円		132円			

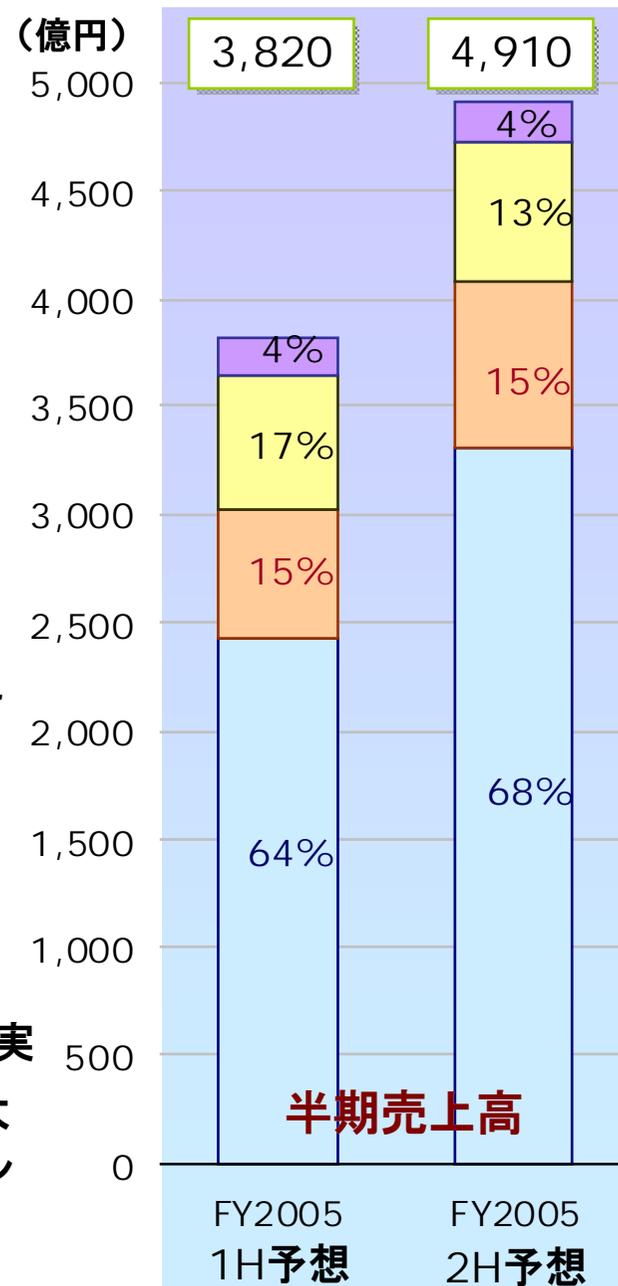
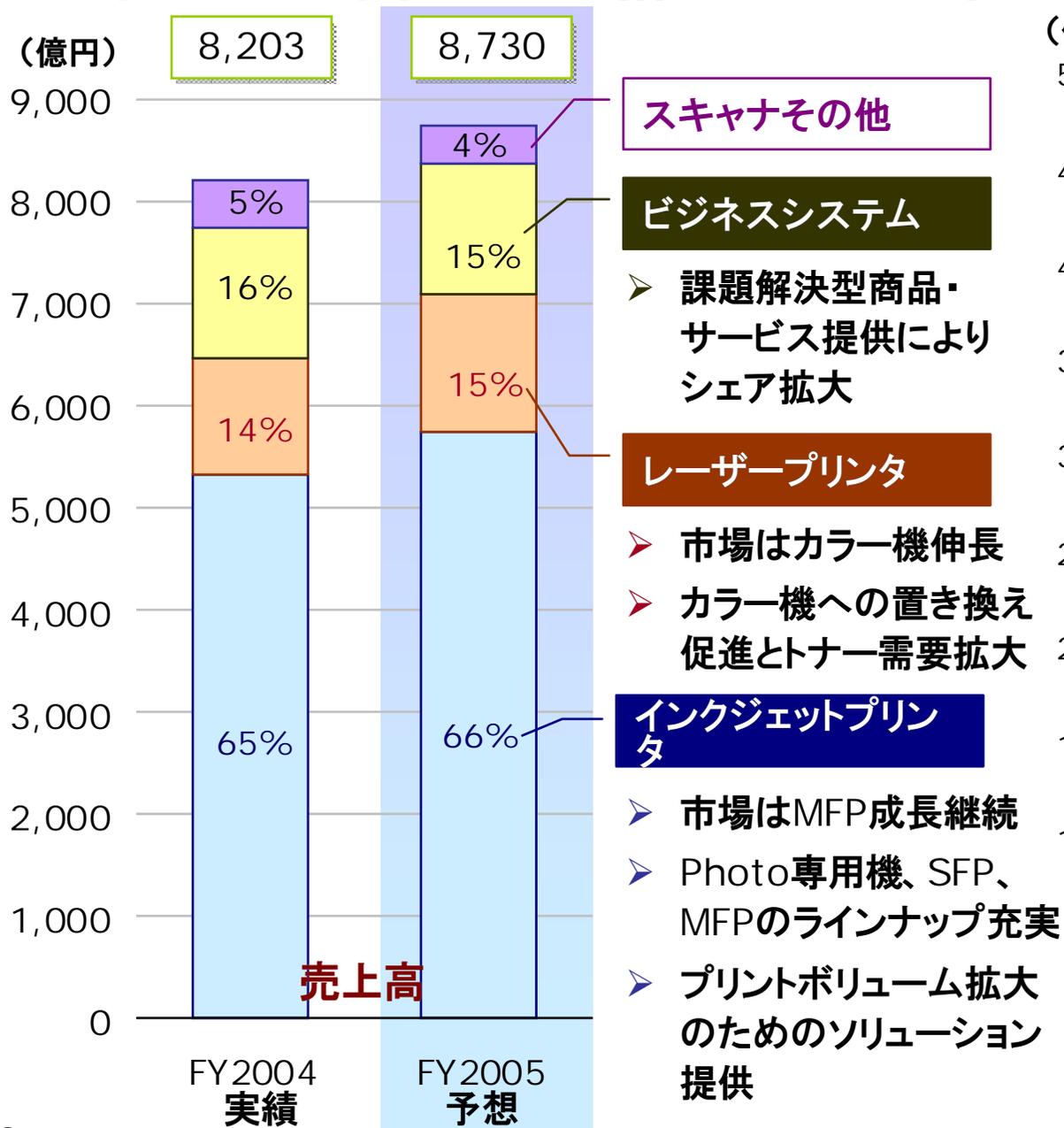
2005年度業績予想(売上高) ▶事業セグメント別



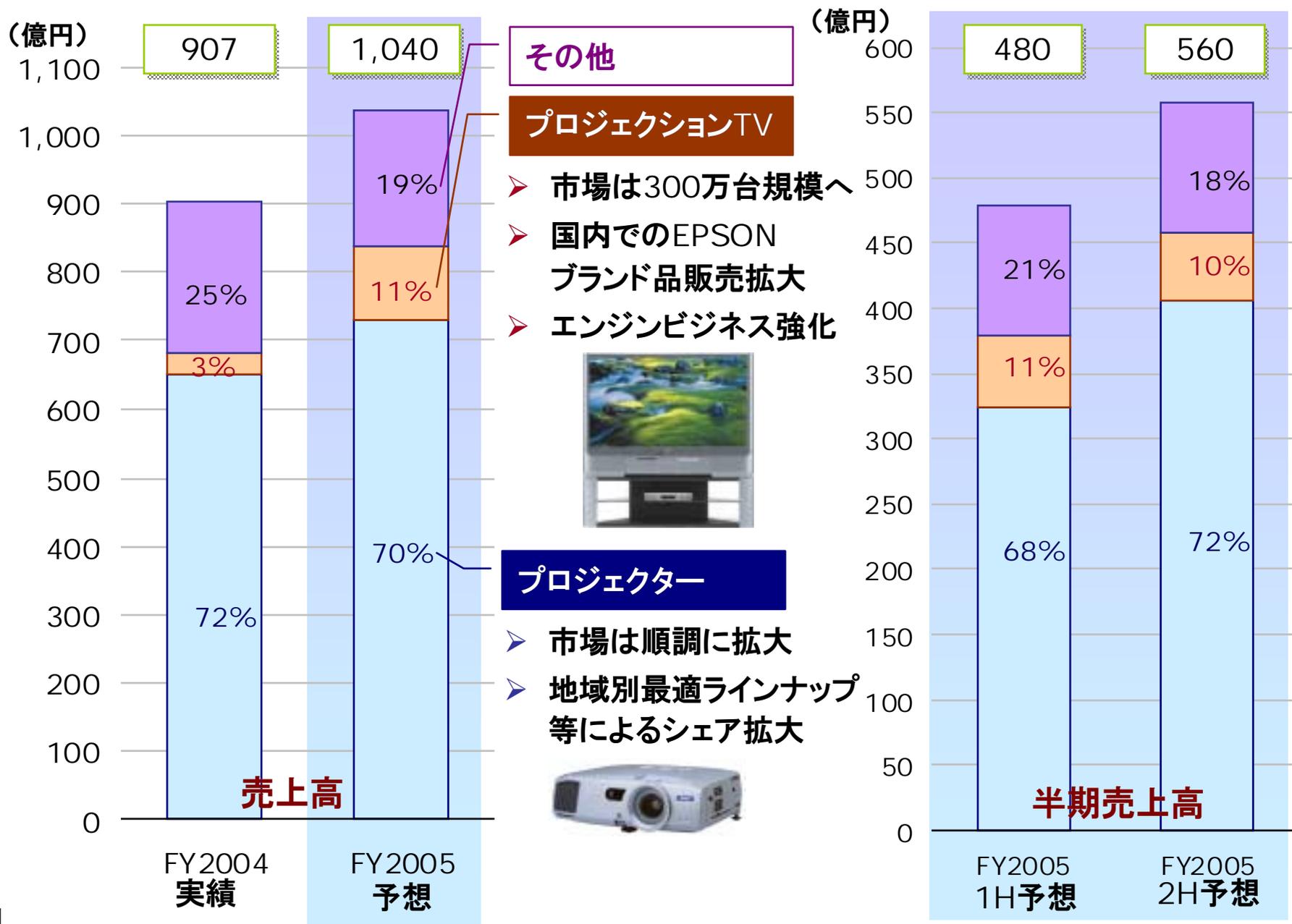
事業別売上高予想▶情報関連機器セグメント



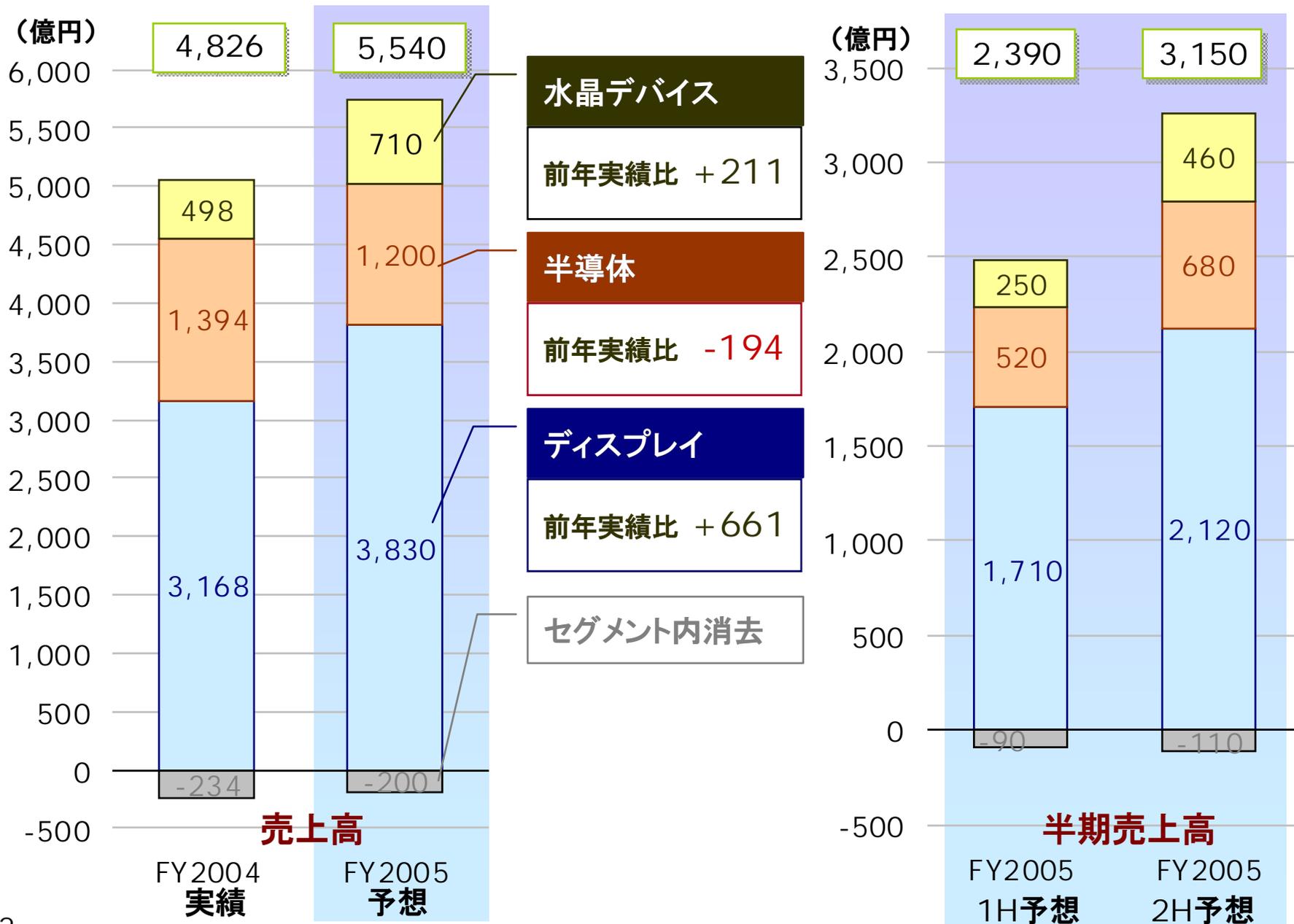
事業別売上高予想▶情報画像事業



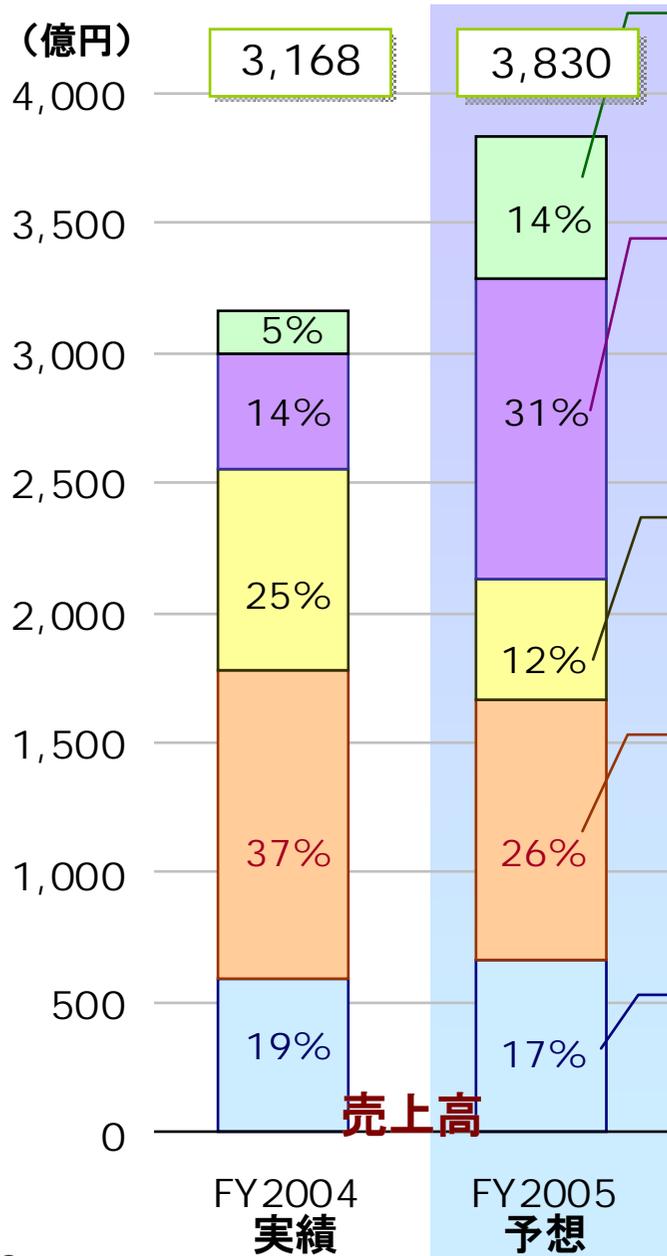
事業別売上高予想▶映像機器事業



事業別売上高予想▶電子デバイスセグメント



事業別売上高予想 ▶ ディスプレイ事業



LTPS-TFT

- ▶ DSC向け数量挽回と携帯電話向け需要確保

α-TFT

- ▶ 大型パネルから撤退
- ▶ 中・小型に集中し、高付加価値化を推進

STN

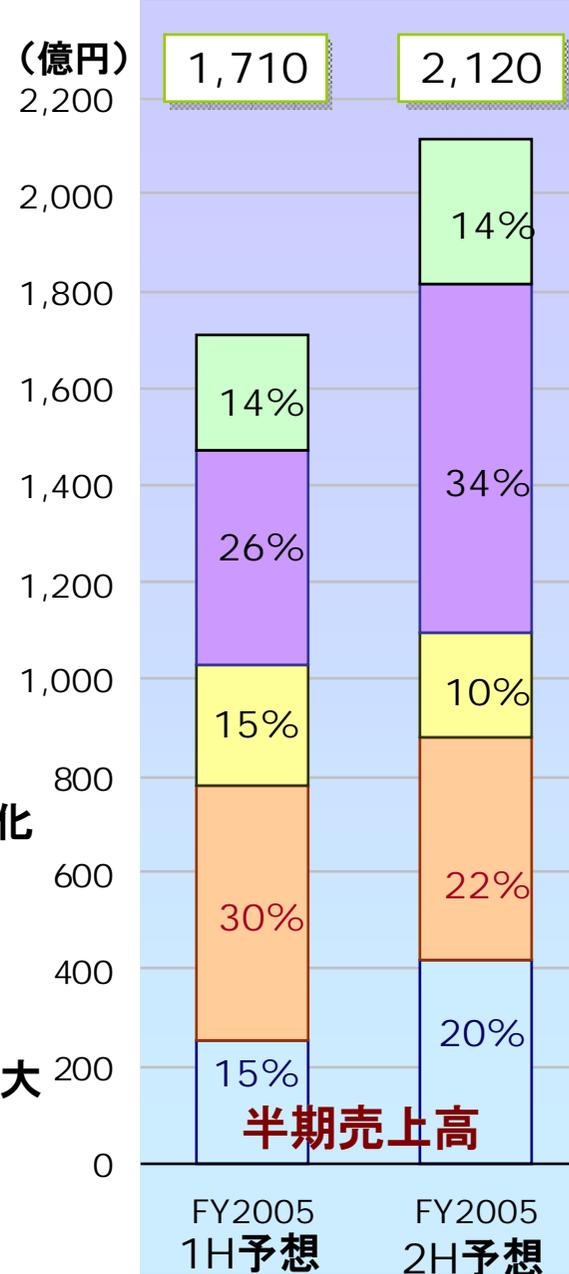
- ▶ 市場規模は昨年並みだが価格低下の影響を受ける

D-TFD

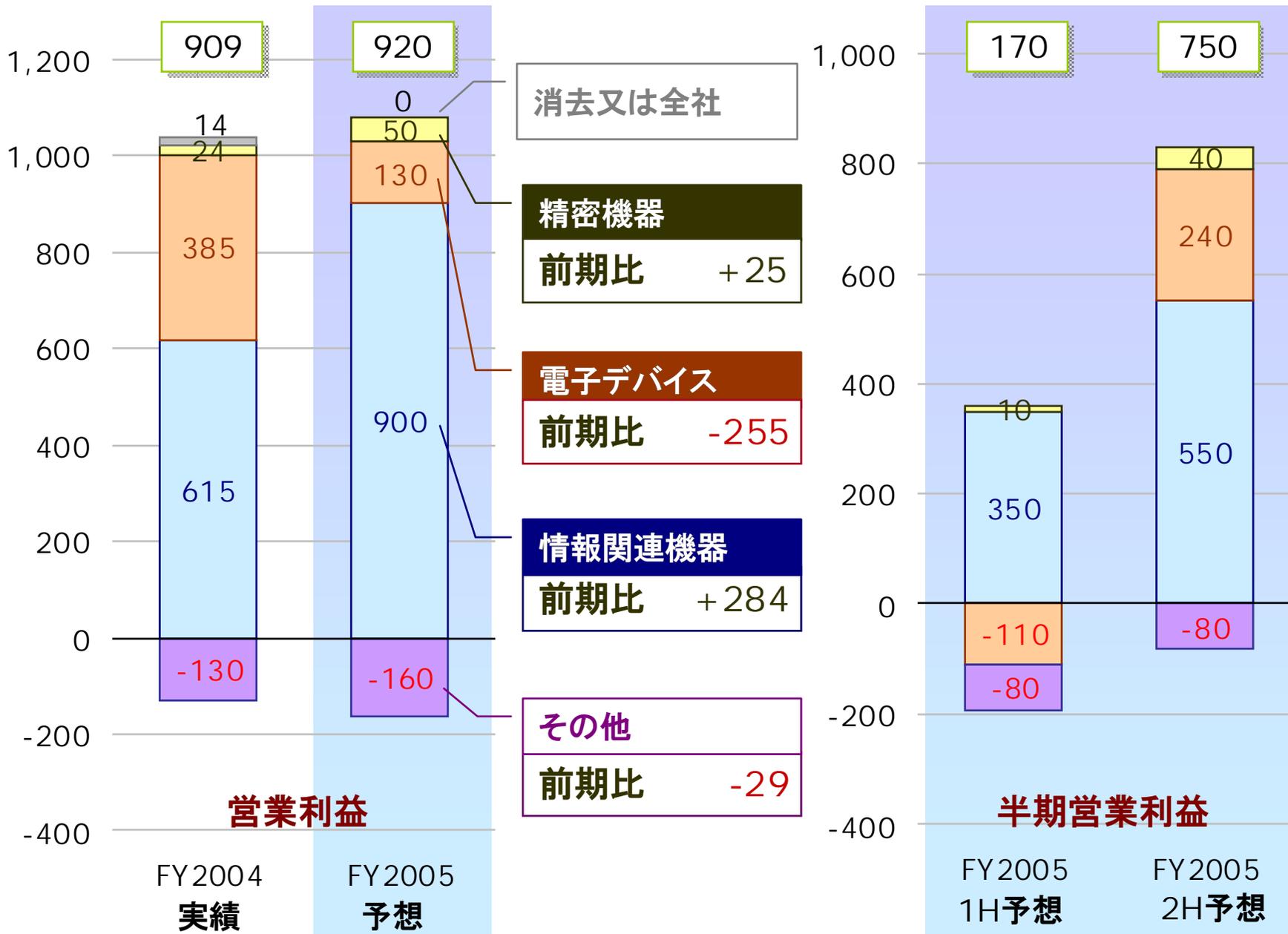
- ▶ 携帯電話のアクティブLCD化を捉え数量は増加するが価格低下の影響を受ける

HTPS-TFT

- ▶ PRJ市場回復、PTV市場拡大を捉え数量増加
- ▶ 千歳新工場稼働開始

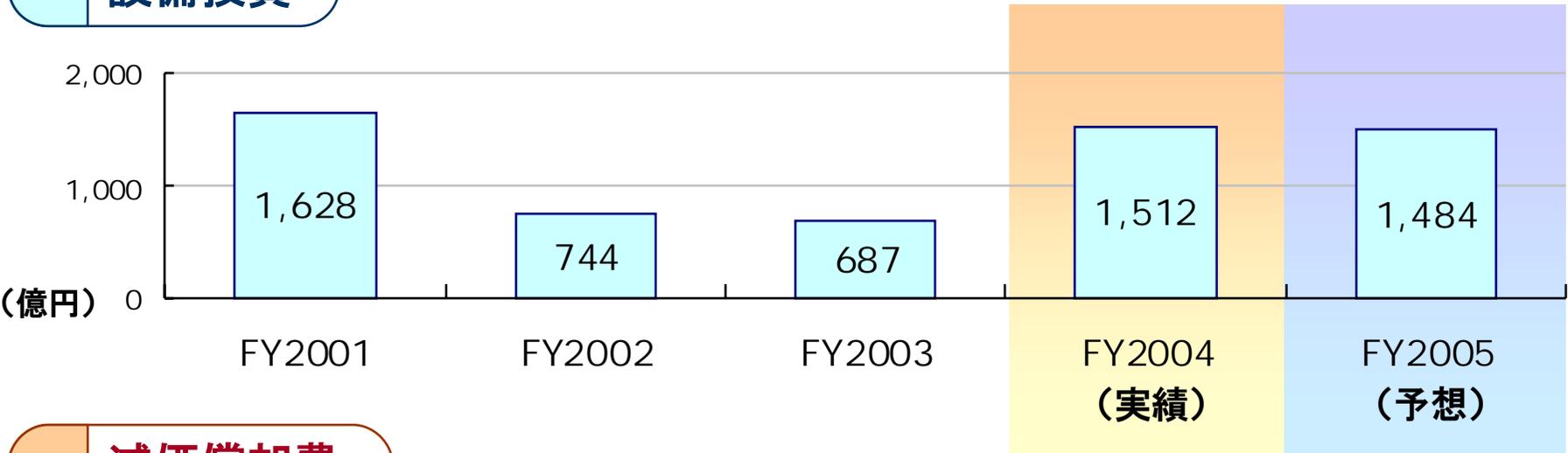


2005年度業績予想(営業利益) ▶事業セグメント別

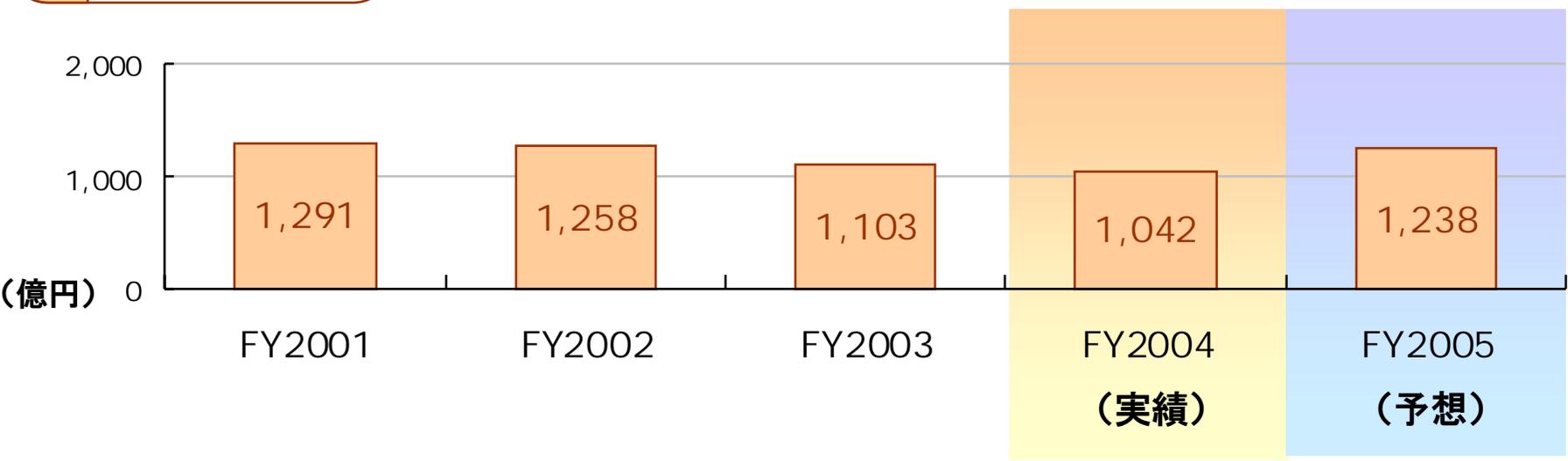


設備投資・減価償却費予想

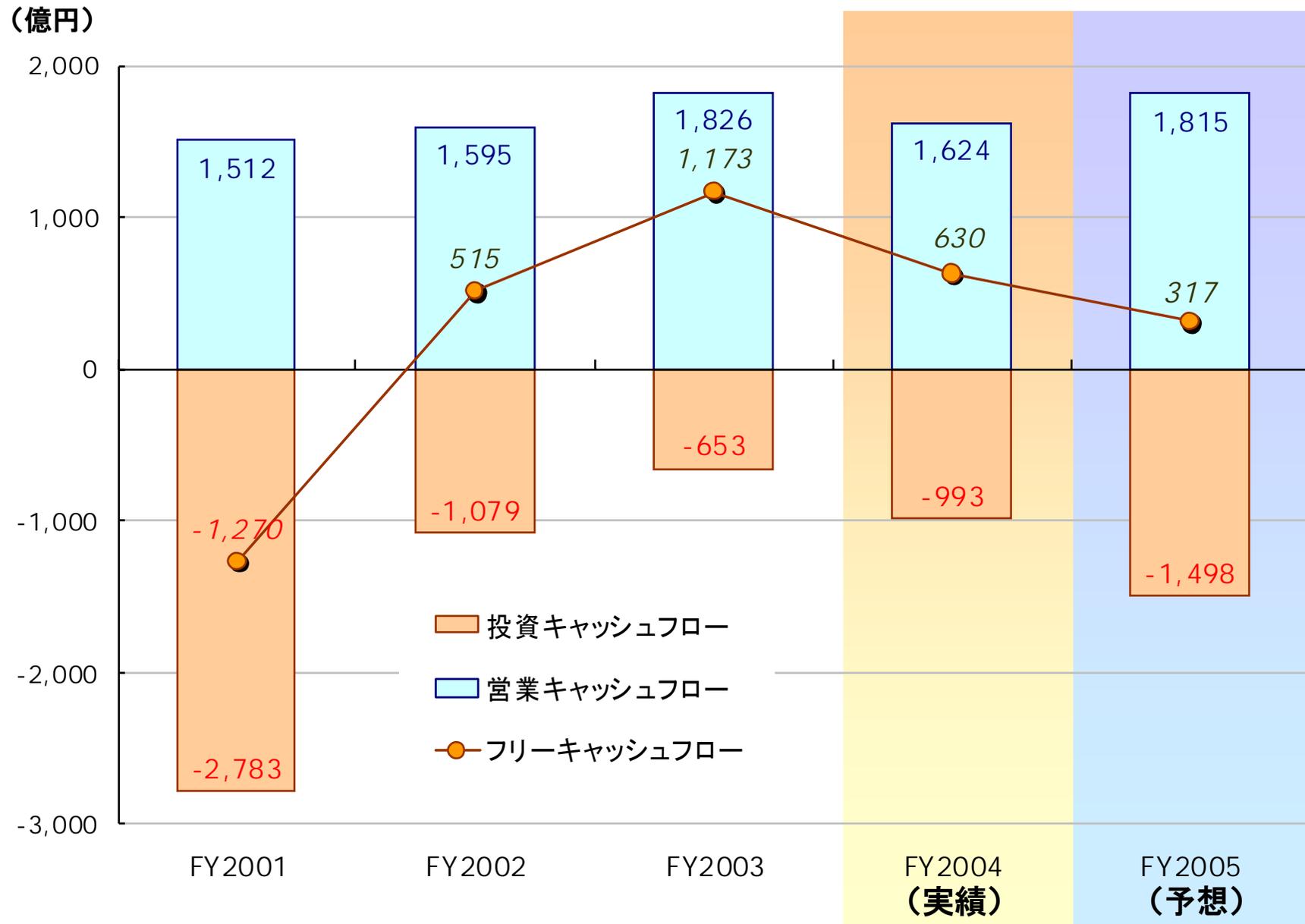
設備投資



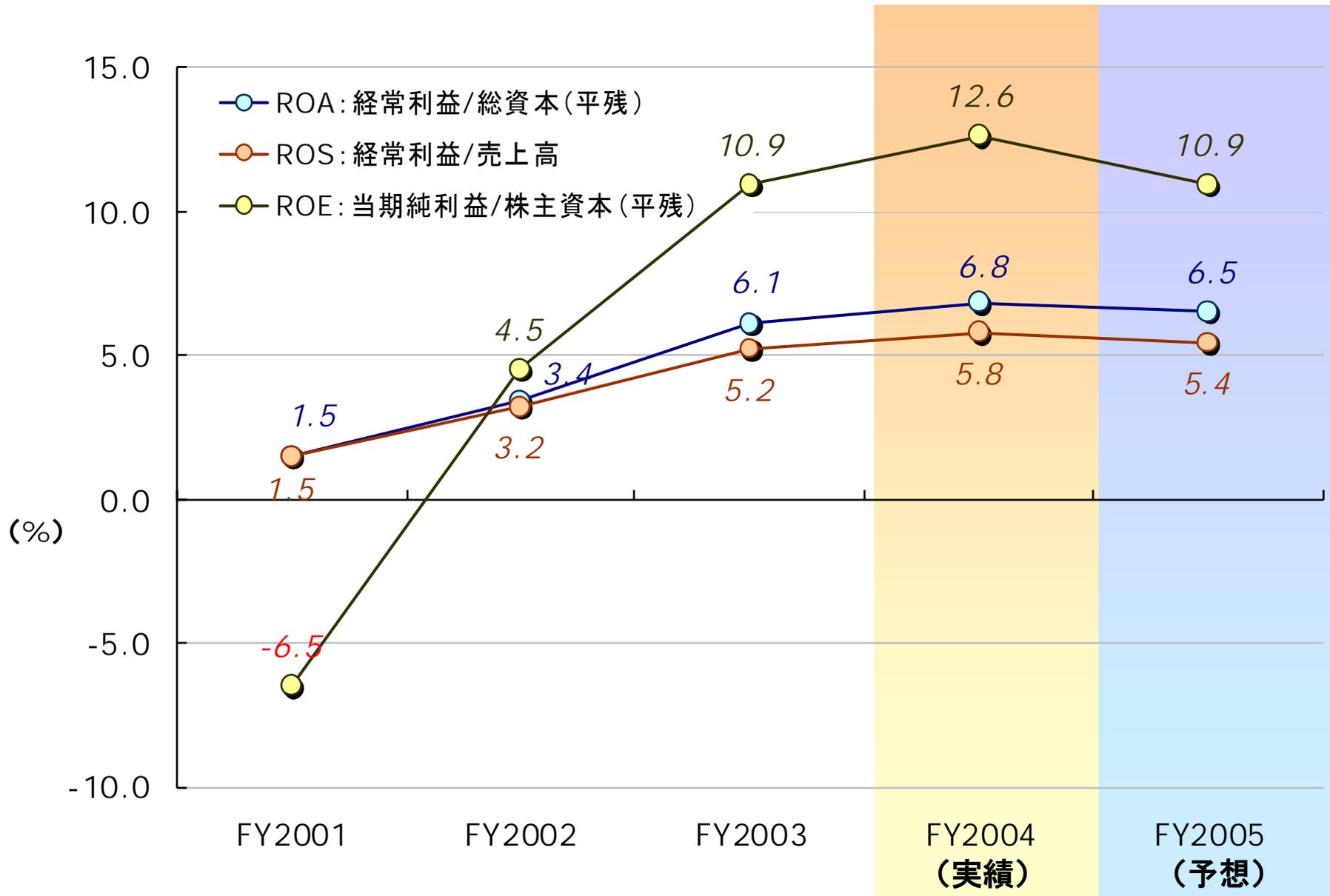
減価償却費



フリーキャッシュフロー予想



主な経営指標の推移



中期経営計画 (Action07) 2年次説明

1年次レビューと新目標値

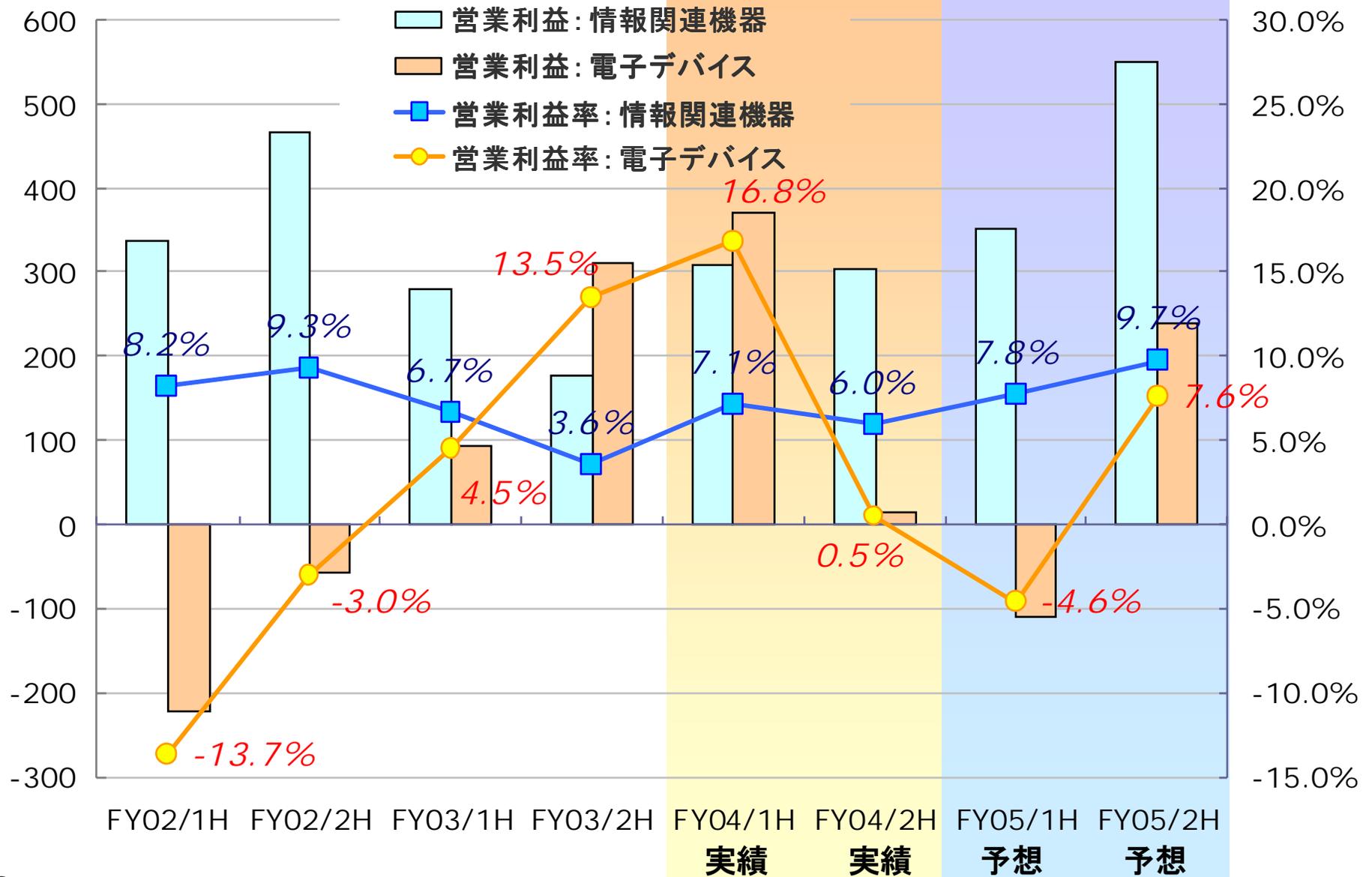
2年次(2005年度)業績予想

2年次の取り組み

営業利益推移(実績/予想)

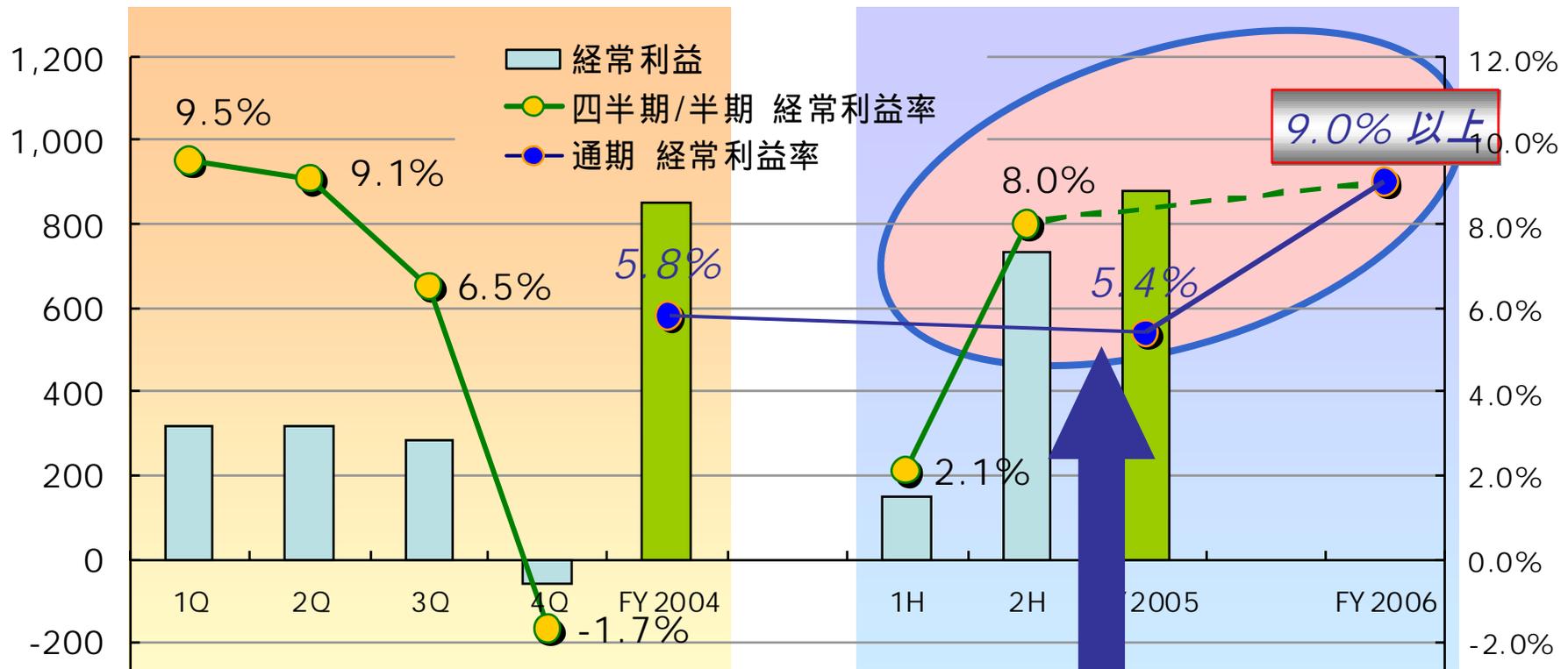
営業利益(億円)

営業利益率



2005年度の位置付け

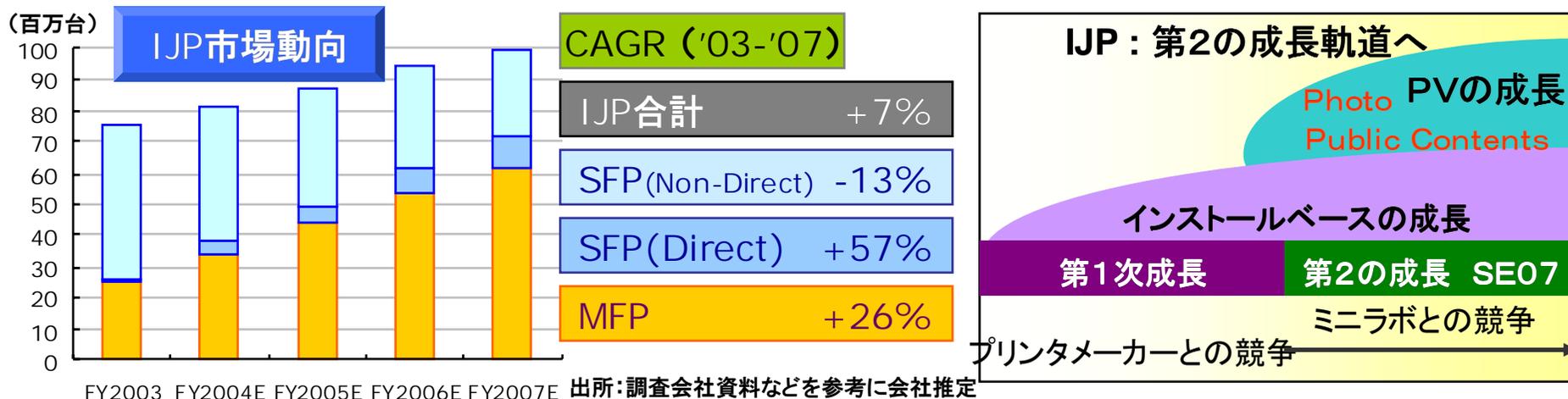
2004年度Q4を底に、再成長に向けた具体的施策を
2005年度上期に実行し、下期から着実に成果へ繋げる。



情報関連機器事業と電子デバイス事業の
両輪をまわすことにより実現

2005年度計画達成のポイント

i1 Imaging on Paper



◆ Epson = Photo の加速

➤ PV(Print Volume & Print Value)値の成長

⇒ A to F戦略 によるホームフォトブランド確立、おうちプリント誘引

➤ グラフィック/ハイ・アマチュア分野の拡大

➤ 更なるコストダウンへの取り組み

◆ オンリーワンフォト技術の追求



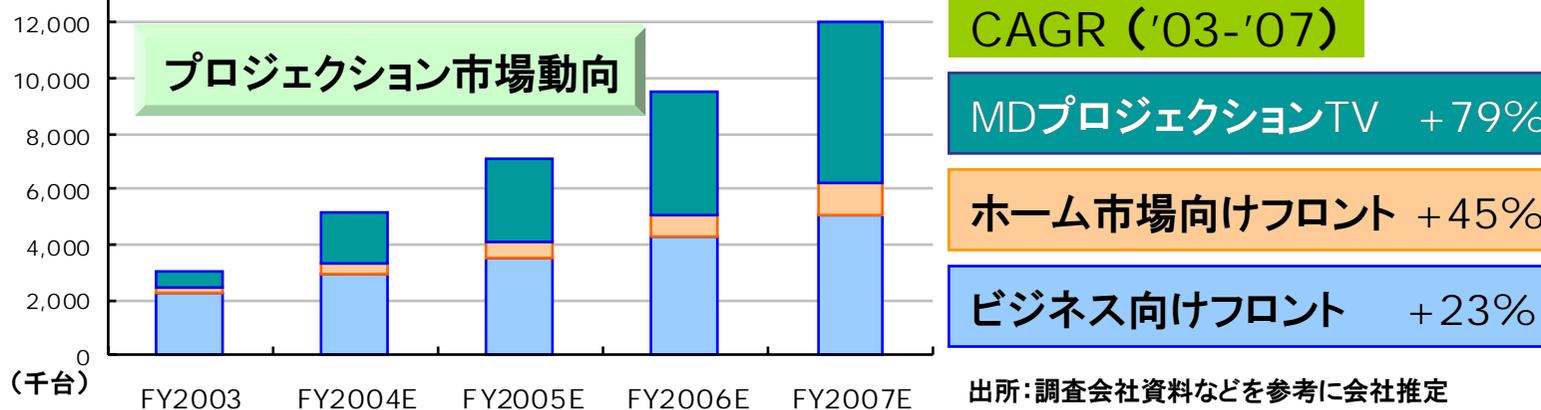
(カラリオ ミー E-200)

A to F 戦略

Affordable	お手ごろ感
Beautiful	高画質
Convenient	便利さ
Durable	保存性
Easy	簡単さ
Fun	楽しさ

2005年度計画達成のポイント

i2 Imaging on screen



◆ No.1プロジェクション技術(3LCD)の追求

➤ 高精細、輝度効率、信頼性で差別化 **3LCD**



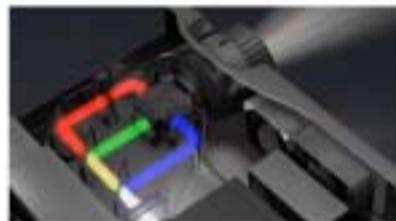
◆ 数量成長とコストダウンへの取り組み

➤ 千歳新工場の稼動開始によるデバイスシェアの拡大



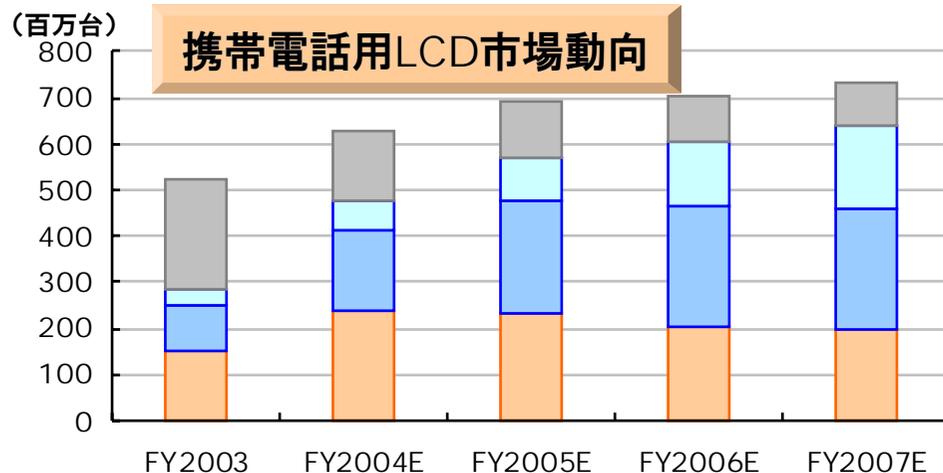
(千歳事業所)

◆ プロジェクションTV: 完成品/エンジンビジネスの両輪での数量成長



2005年度計画達成のポイント

i3 Imaging on glass



CAGR ('03-'07)

パネル需要合計 +9%

B/W-STN -20%

Active High End +49%

Active Volume Zone +26%

Color STN +8%

出所:TSR,D/S,PRを参考に会社推定 注:背面パネルを含まない

- ◆ SEID(三洋エプソンイメージングデバイス)事業の利益体質化
- ◆ アクティブボリュームゾーンでの数量拡大とコストダウンへの徹底的な取り組み
 - α -TFT: 事業拡大の中心と位置付け、小型化シフト加速とアプリ拡大
- ◆ オンリーワンディスプレイ技術の追求
- ◆ 半導体事業の採算改善
 - LCDドライバの復権
 - 独自の強みで差別化した商品群づくりによる商品構造転換の推進
- ◆ 水晶デバイス新会社のスムーズな立ち上げ

株主様への利益還元について

- 2004年度期末配当金予想を増額修正(ご案内済)
- 2005年度中間ならびに期末配当金を増配予定

(1株当たり)	中間配当金	期末配当金	年間配当金	配当性向
2005年度	16円00銭 (予想)	16円00銭 (予想)	32円00銭 (予想)	11.6% (予想)
2004年度	13円00銭	13円00銭 (予想)	26円00銭 (予想)	9.2% (予想)
2003年度	9円00銭	9円00銭	18円00銭	8.8%

EPSON
EXCEED YOUR VISION